

平成29年度予算の概要



公立大学法人奈良県立医科大学



奈良県立医科大学の建学の精神

最高の医学と最善の医療をもって地域の安心と社会の発展に貢献します

理念

教育

豊かな人間性に基づいた高い倫理観と旺盛な科学的探究心を備え、患者・医療関係者、地域や海外の人々と温かい心で積極的に交流し、生涯にわたり最善の医療提供を実践し続けようとする強い意志を持った医療人の育成を目指します。

研究

研究の成果を患者への最善の医療に生かし奈良県民の健康増進を図るとともに、最先端の研究により医学の進歩に貢献します。

診療

患者と心が通い合う人間味あふれる医療人を育成し、地域との緊密な連携のもとで奈良県民を守る最終ディフェンスラインとして、安全で安心できる最善の医療を提供します。

法人運営

最高の医学の追究、最善の医療の追求を使命として、互いに連携しながら自らの職務に誇りと情熱をもって取り組み、課題に対して自ら行動できる人材を確保・育成することで、教育・研究・診療の理念を実現し、発展し続ける法人運営を実践します。

目次

平成29年度予算のあらまし	
1. 平成29年度予算の規模	1
2. 収入予算の概要	2
3. 支出予算の概要	3
4. 主な収入・支出の推移	4
5. 企業会計予算の概要	6
平成29年度組織の整備	7
平成29年度予算の主要事業・新規事業	8
平成29年度予算編成方針	11
平成29年度予算の内容	
Ⅰ 地域貢献予算の概要	
第2期中期計画 Ⅰ 地域貢献	13
<教育関連> 平成29年度 年度計画	14
関連予算	15
<研究関連> 平成29年度 年度計画	16
関連予算	17
<診療関連> 平成29年度 年度計画	18
関連予算	19
Ⅱ 教育予算の概要	
第2期中期計画 Ⅱ 教育	20
平成29年度 年度計画	20
関連予算	21
Ⅲ 研究予算の概要	
第2期中期計画 Ⅲ 研究	23
平成29年度 年度計画	24
関連予算	25
Ⅳ 診療予算の概要	
第2期中期計画 Ⅳ 診療	27
平成29年度 年度計画	28
関連予算	29
Ⅴ まちづくり予算の概要	
第2期中期計画 Ⅴ まちづくり	32
平成29年度 年度計画	33
関連予算	34
Ⅵ 法人運営予算の概要	
第2期中期計画 Ⅵ 法人運営	35
平成29年度 年度計画	35
関連予算	37

平成29年度予算のあらまし

1. 平成29年度予算の規模

平成29年度予算 461億9,100万円

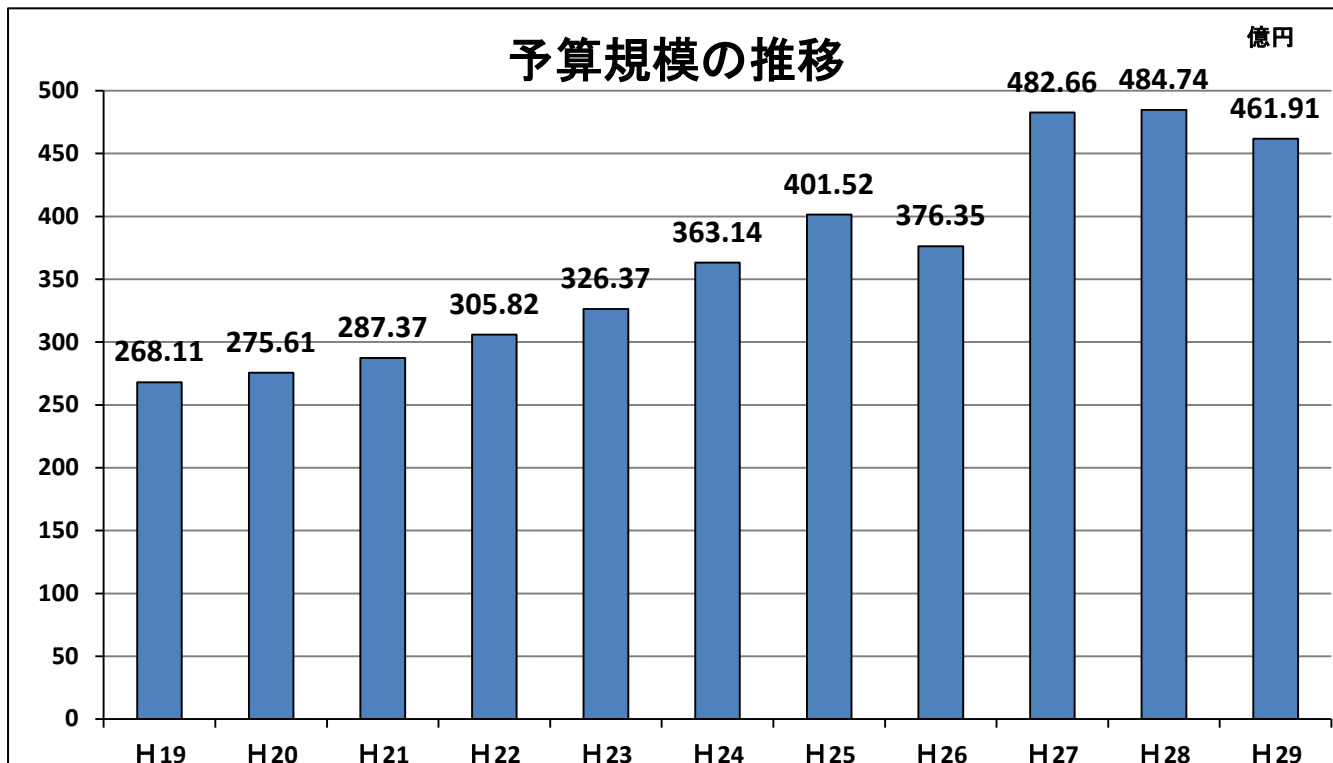
【前年度比 Δ 22億8,330万円 Δ 4.7%】

(※28年度予算 484億7,430万円)

予算規模の増減要因

- ・E病棟本格稼働などによる病院収入の増加
- ・増員などによる人件費の増
- ・E病棟整備の第2期工事竣工による施設整備費及びそれに伴う長期借入金収入の減

予算規模の推移



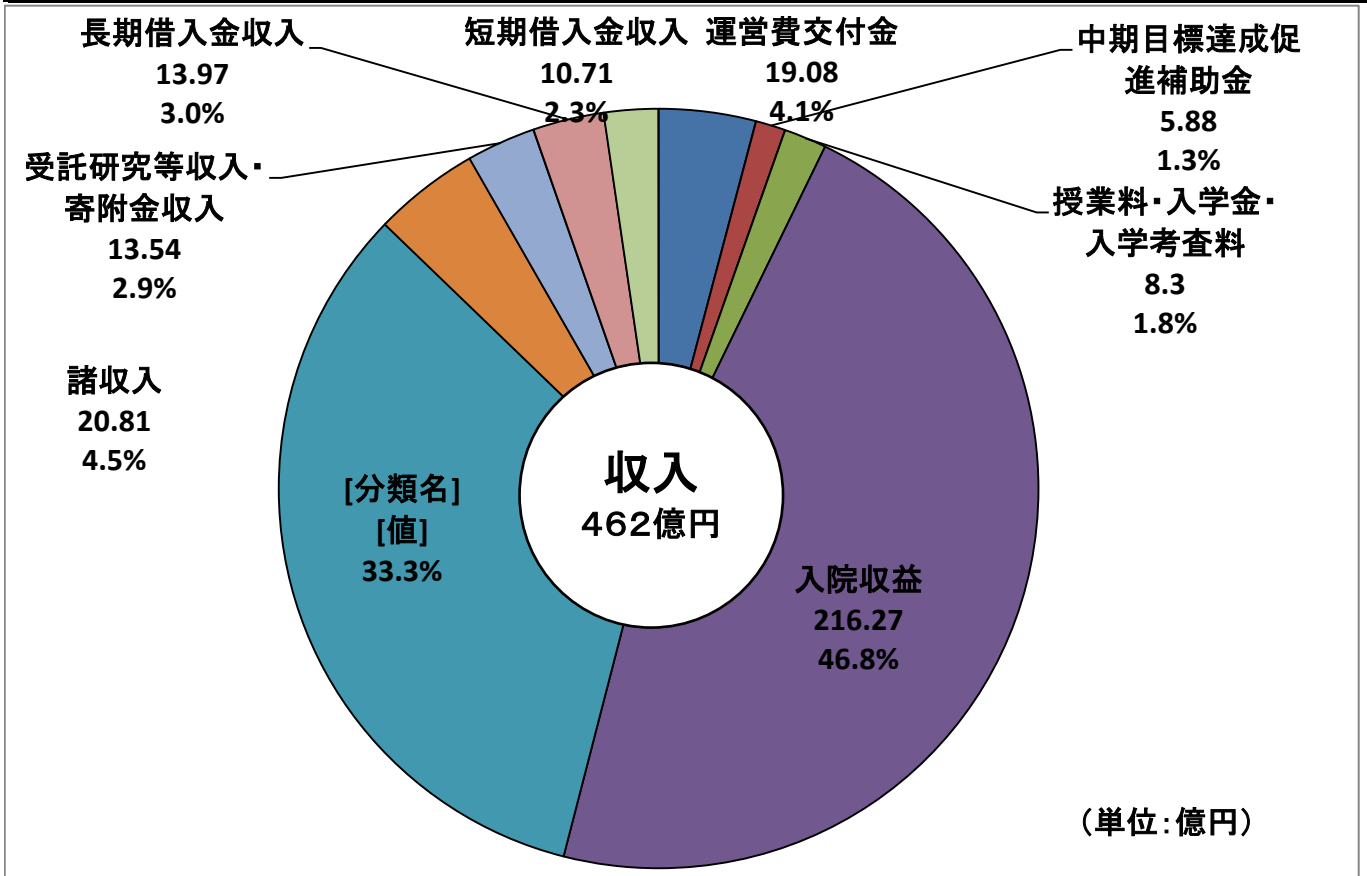
※注

ここでいう予算とは、官庁会計方式に基づいて策定した予算であり、1年間の現金の出入を表しています。企業会計方式に基づいた予算(予定損益計算書)については、P6を参照して下さい。

2. 収入予算の概要

(千円)

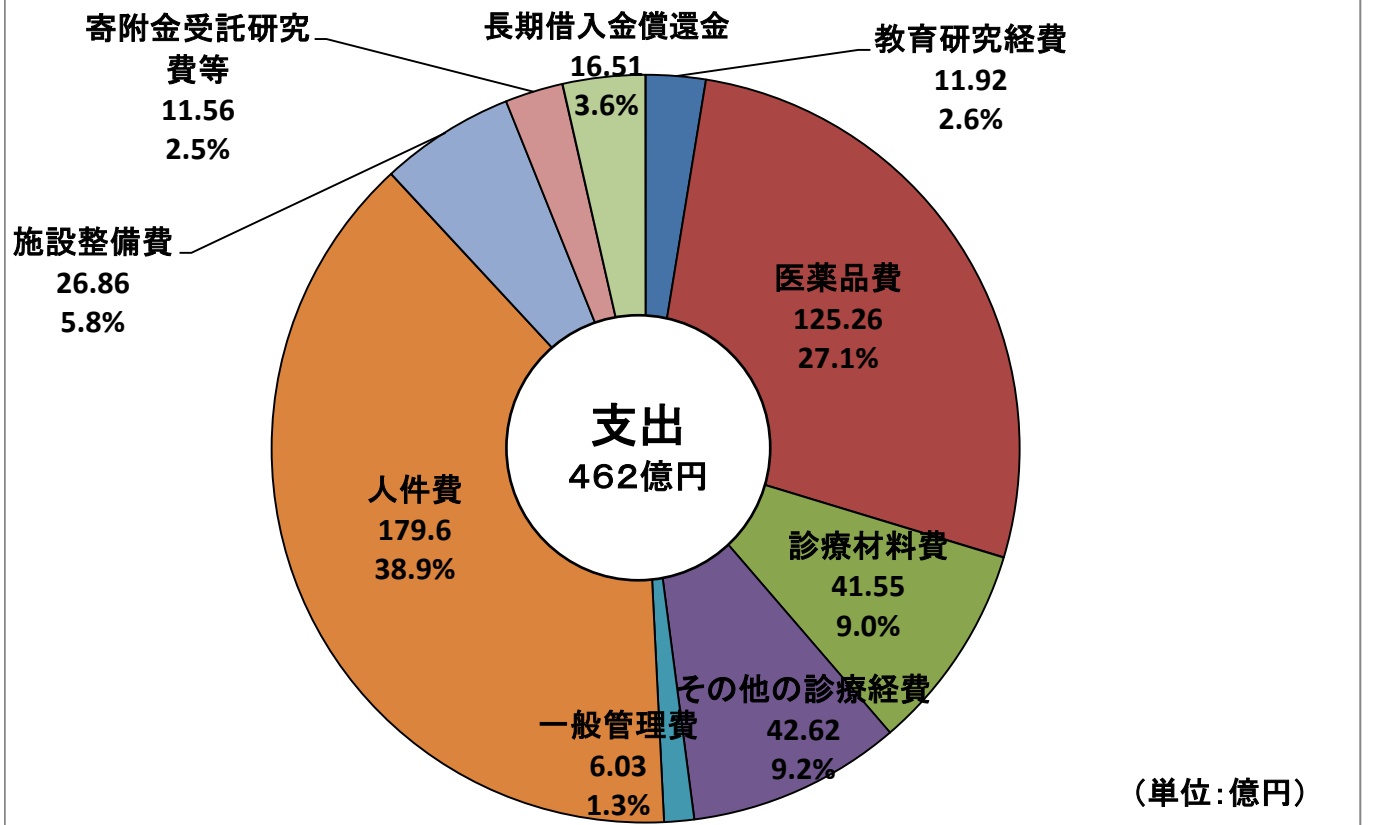
区 分	29予算		28予算		29-28	
	A	(構成比)	B	(構成比)	A-B	(増減率)
運営費交付金	1,907,500	(4.1%)	1,905,900	(3.9%)	1,600	(0.1%)
中期目標達成促進補助金	587,500	(1.3%)	560,400	(1.2%)	27,100	(4.8%)
自己収入	39,874,800	(86.4%)	38,859,500	(80.2%)	1,015,300	(2.6%)
授業料・入学金・入学考査料	829,600	(1.8%)	824,800	(1.7%)	4,800	(0.6%)
入院収益	21,627,000	(46.8%)	20,850,000	(43.0%)	777,000	(3.7%)
外来収益	15,337,000	(33.3%)	15,148,000	(31.3%)	189,000	(1.2%)
諸収入	2,081,200	(4.5%)	2,036,700	(4.2%)	44,500	(2.2%)
受託研究等収入・寄附金収入	1,353,900	(2.9%)	836,700	(1.7%)	517,200	(61.8%)
長期借入金収入	1,396,600	(3.0%)	5,820,800	(12.0%)	△ 4,424,200	(△76.0%)
短期借入金収入	1,070,700	(2.3%)	491,000	(1.0%)	579,700	(118.1%)
合計	46,191,000		48,474,300		△ 2,283,300	(△4.7%)



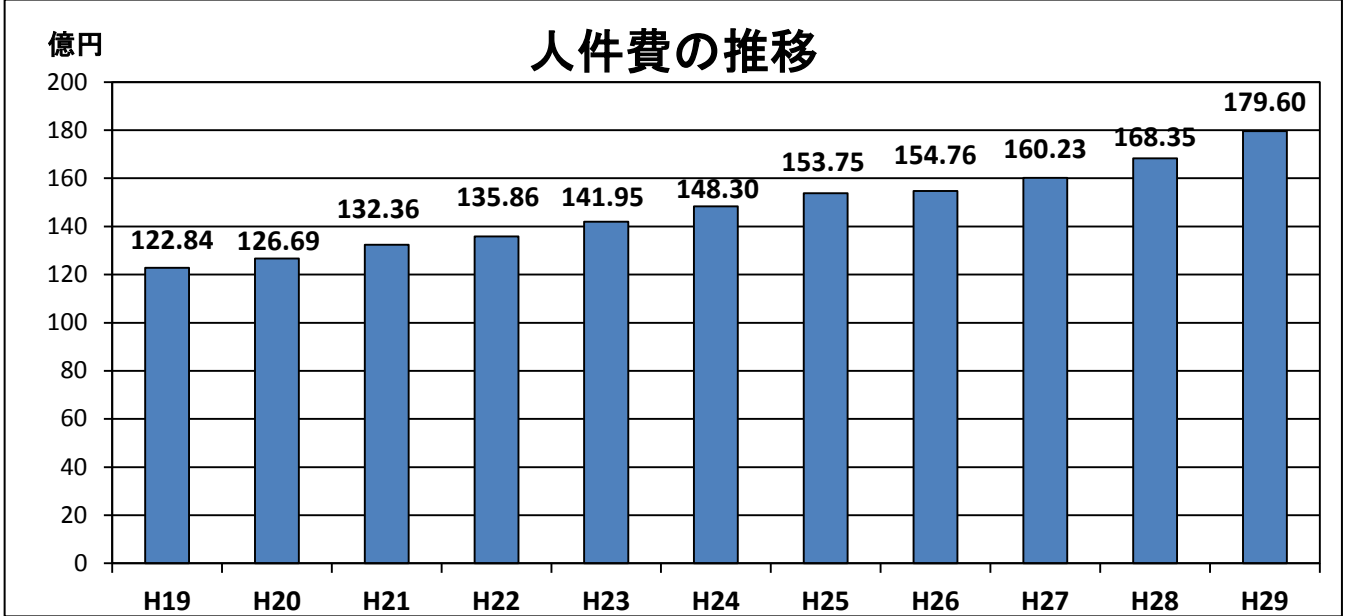
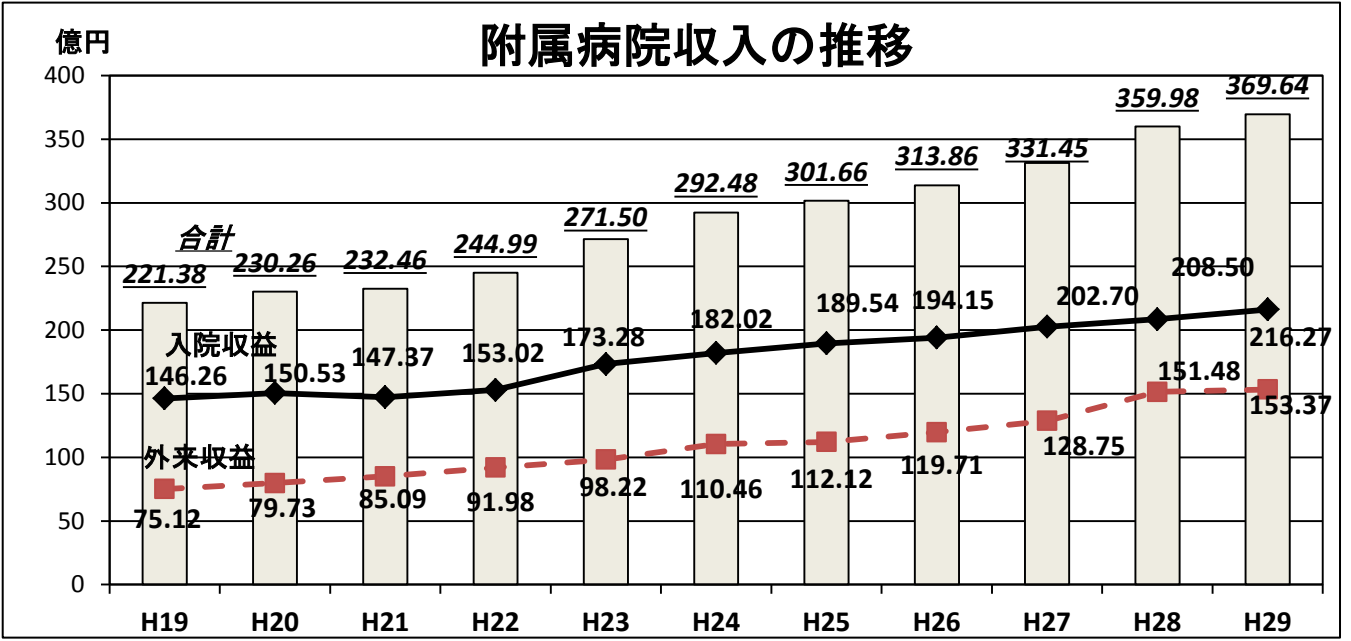
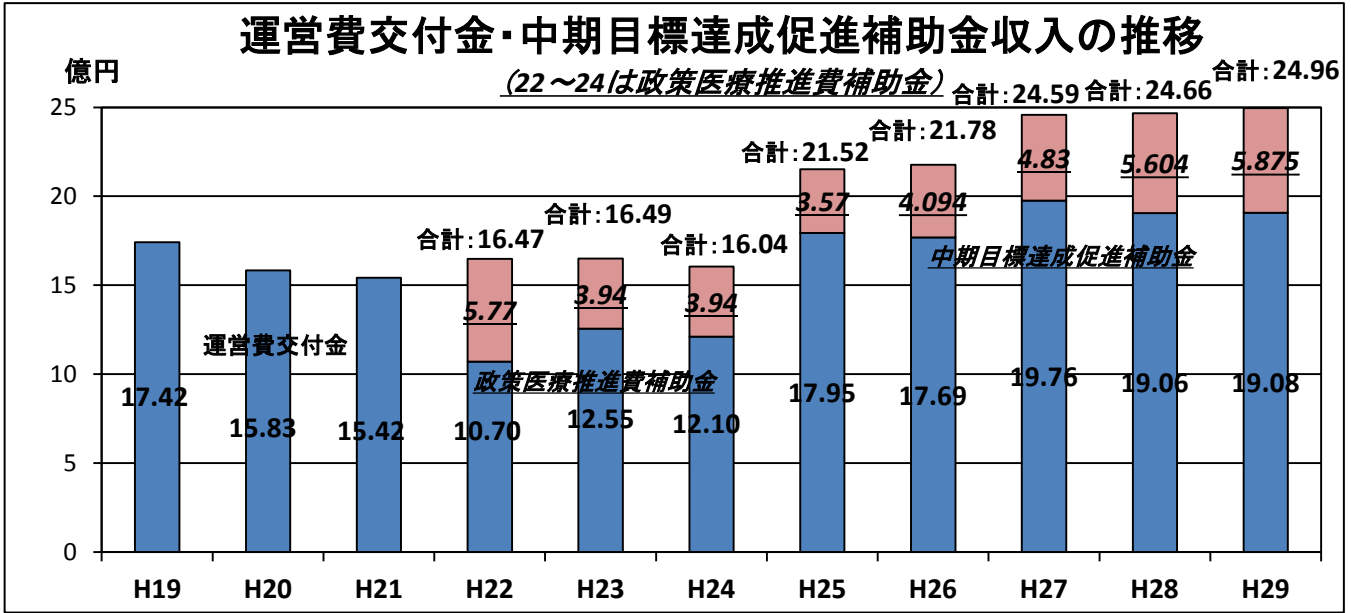
3. 支出予算の概要

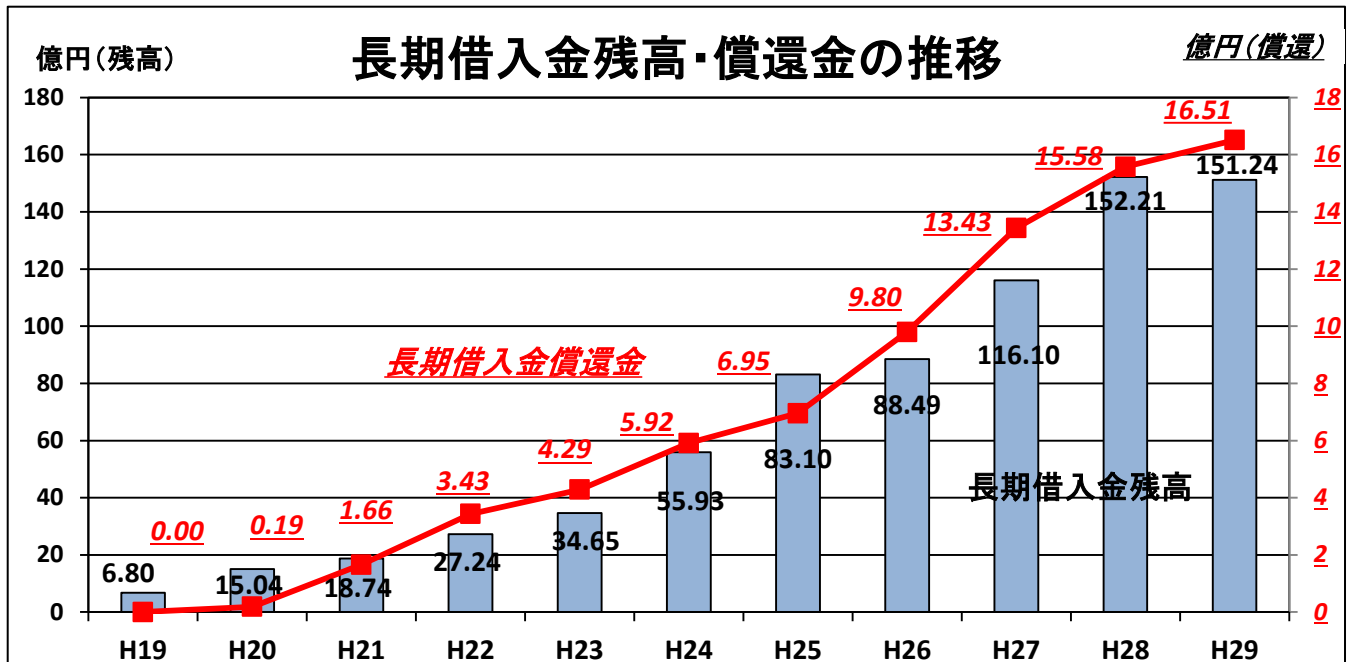
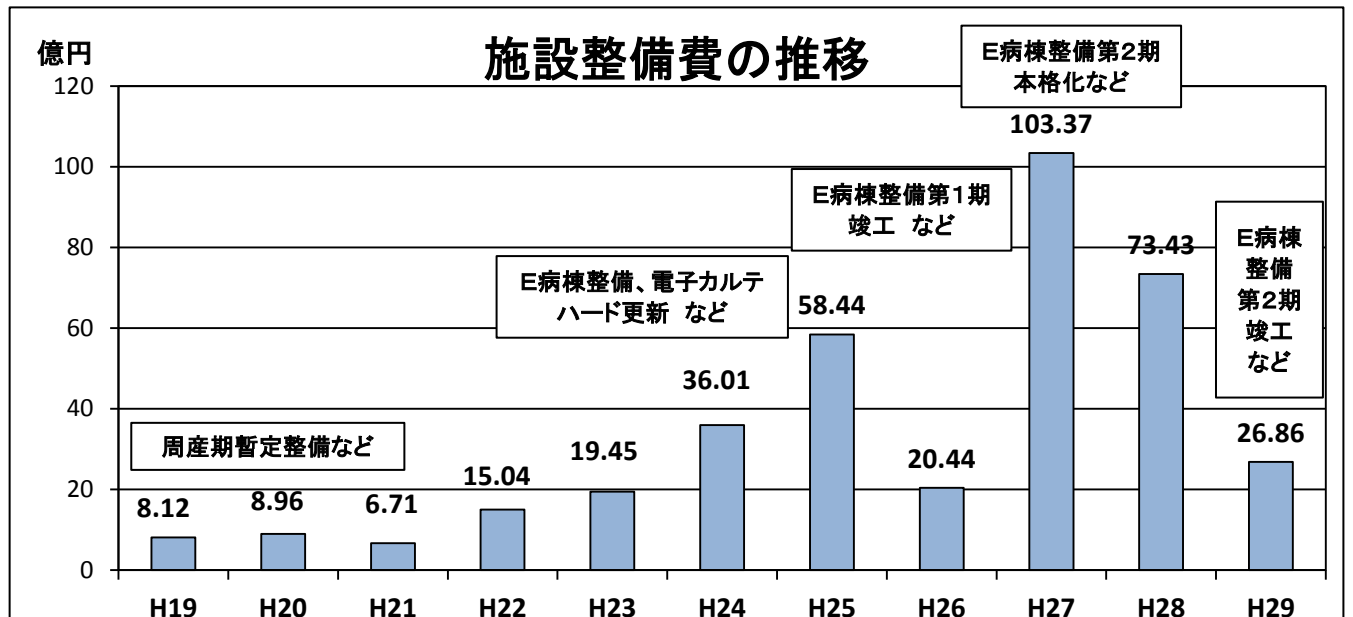
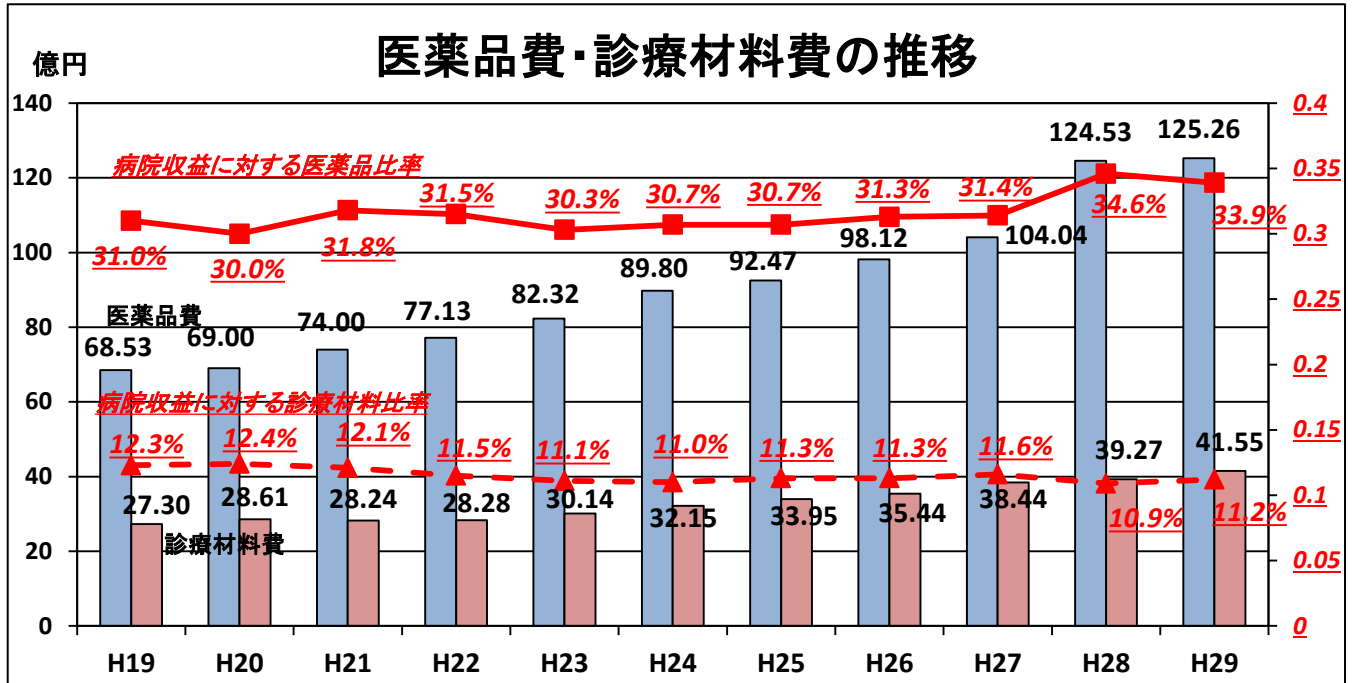
(千円)

区分	29予算		28予算		29-28	
	A	(構成比)	B	(構成比)	A-B	(増減率)
教育研究経費	1,192,200	(2.6%)	1,169,300	(2.5%)	22,900	(2.0%)
教育経費	369,600	(0.8%)	332,900	(0.7%)	36,700	(11.0%)
研究経費	700,300	(1.5%)	710,000	(1.5%)	△ 9,700	(△1.4%)
教育研究支援経費	122,300	(0.3%)	126,400	(0.3%)	△ 4,100	(△3.2%)
診療経費	20,942,500	(45.3%)	20,291,400	(41.9%)	651,100	(3.2%)
医薬品費	12,526,000	(27.1%)	12,453,000	(25.7%)	73,000	(0.6%)
診療材料費	4,155,000	(9.0%)	3,927,000	(8.1%)	228,000	(5.8%)
その他の経費	4,261,500	(9.2%)	3,911,400	(8.1%)	350,100	(9.0%)
一般管理費	602,500	(1.3%)	680,600	(1.4%)	△ 78,100	(△11.5%)
人件費	17,960,100	(38.9%)	16,834,900	(34.7%)	1,125,200	(6.7%)
施設整備費	2,686,400	(5.8%)	7,342,800	(15.1%)	△ 4,656,400	(△63.4%)
寄附金受託研究費等	1,156,300	(2.5%)	597,700	(1.2%)	558,600	(93.5%)
長期借入金償還金	1,651,000	(3.6%)	1,557,600	(3.2%)	93,400	(6.0%)
支出合計	46,191,000		48,474,300		△ 2,283,300	(△4.7%)



4. 主な収入・支出の推移





5. 企業会計予算の概要

(費用)

(千円)

区分	29予算		28予算		29-28	
	A	(構成比)	B	(構成比)	A-B	(増減率)
教育経費	294,200	(0.7%)	293,700	(0.7%)	500	(0.2%)
研究経費	649,400	(1.5%)	590,600	(1.4%)	58,800	(10.0%)
教育研究支援経費	105,900	(0.2%)	103,200	(0.2%)	2,700	(2.6%)
寄附金・受託研究費	734,500	(1.6%)	514,400	(1.2%)	220,100	(42.8%)
診療経費	21,000,600	(46.6%)	20,553,600	(48.5%)	447,000	(2.2%)
人件費	18,395,900	(40.8%)	17,166,900	(40.5%)	1,229,000	(7.2%)
減価償却費	2,719,400	(6.0%)	2,368,100	(5.6%)	351,300	(14.8%)
一般管理費等	989,200	(2.2%)	682,700	(1.6%)	306,500	(44.9%)
財務費用	157,200	(0.4%)	132,500	(0.3%)	24,700	(18.6%)
費用合計	45,046,300		42,405,700		2,640,600	(6.2%)

(収益)

(千円)

区 分	29予算		28予算		29-28	
	A	(構成比)	B	(構成比)	A-B	(増減率)
運営費交付金収益	1,895,300	(4.4%)	1,893,700	(4.6%)	1,600	(0.1%)
補助金収益 (中期目標達成促進補助金)	561,500	(1.3%)	560,400	(1.4%)	1,100	(0.2%)
授業料・入学金・入学考査料	807,900	(1.9%)	805,600	(2.0%)	2,300	(0.3%)
附属病院収益	37,195,000	(86.2%)	36,203,600	(88.0%)	991,400	(2.7%)
補助金収益・雑益等 (中期目標達成促進補助金除く)	1,150,900	(2.7%)	610,300	(1.5%)	540,600	(88.6%)
寄附金収益・受託研究等収益	1,194,900	(2.8%)	760,100	(1.8%)	434,800	(57.2%)
資産見返負債戻入	324,600	(0.7%)	290,600	(0.7%)	34,000	(11.7%)
合計	43,130,100		41,124,300		2,005,800	(4.9%)

(収支)

(千円)

区 分	29予算 A	28予算 B	29-28 A-B	(増減率)
当期総損失	△ 1,916,200	△ 1,281,400	△ 634,800	(49.5%)

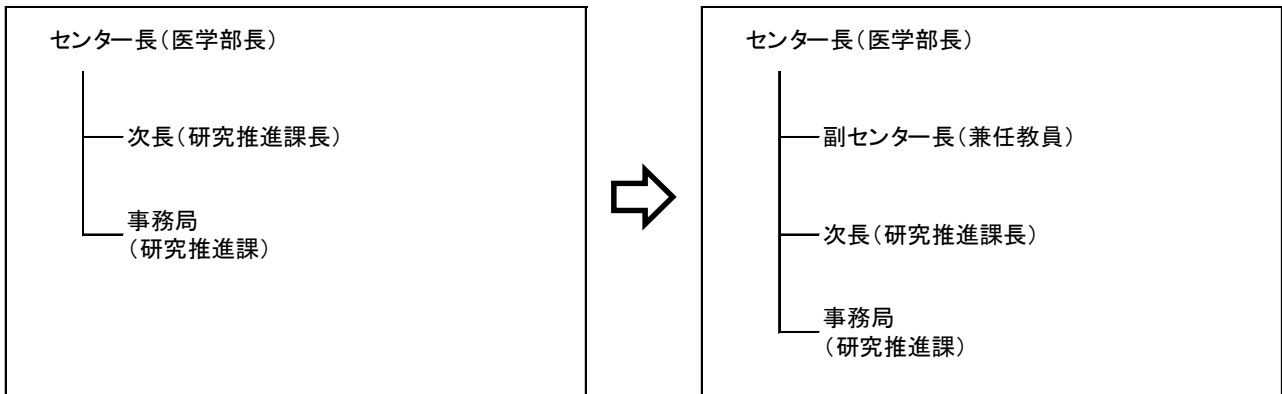
企業会計においては、現金の出入りにかかわらず発生する事実に基づいて収益、費用等を計上するため、財政状態や経営状況を的確に表します。(将来負担する退職手当の当該年度負担分(退職給付引当金繰入)や取得した資産の当該年度負担分(減価償却費)など)

平成29年度組織の整備

組織の変更

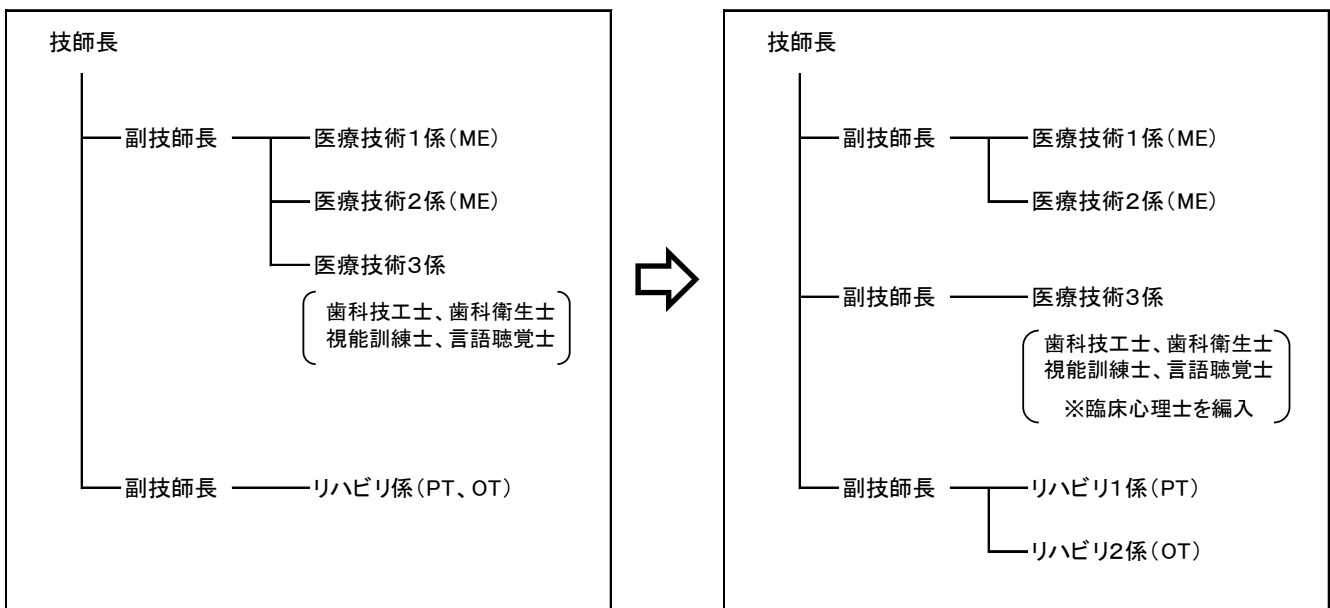
1. 国際交流センターの充実

- 教育、研究、研修に関する国際交流の推進体制の強化
- 英語を使用する事務処理に対応するための組織強化



2. 医療技術センター体制整備

- 職種ごとの管理体制の整備
- 臨床心理士の同センターへの編入



◆平成29年度予算の主要事業・新規事業 I

地域貢献(教育・研究関連)

- 県立医大医師派遣センターの運営
- 県費奨学生配置センターの運営
【予算額】26,900千円(県補助金等) (㊤ 22,200千円)
医師配置の一元的な運営体制のさらなる整備、県費奨学生の地域配置などの支援
- 地域医療学講座事業
【予算額】25,500千円(県補助金) (㊤ 25,100千円)
県からの交付金を財源とし、地域医療に関する研究を行う講座を運営
- 在宅医療看護人材育成支援奨学金
【予算額】8,400千円(県補助金) (㊤ 6,000千円)
- 新 在宅看護特別教育プログラム運営経費
【予算額】1,700千円(県補助金) (㊤ - 千円)
県内における在宅看護を牽引するリーダーを育成するため、一定の要件を満たす者に対し奨学金を賞与するとともに、特別な教育プログラムを実施
- 新 特定行為研修(在宅コース)開設準備事業
【予算額】6,000千円(県補助金) (㊤ - 千円)
「地域包括ケアシステム奈良医大モデル」の一環として、特定行為研修在宅コースの平成30年4月開設に向けた事前調査・準備にかかる経費
- 看護実践・キャリア支援センターの運営
【予算額】23,000千円(県補助金等) (㊤ 23,400千円)
看護教育と看護現場の交流を促進することなどにより、看護学生・看護職のキャリアアップを支援するセンターの運営
- 大和漢方医学薬学センターの運営
【予算額】16,900千円(県補助金) (㊤ 23,000千円)
漢方医学の教育、研究、診療を行うセンターの運営
- 県民健康増進支援センター運営費
【予算額】18,500千円(県補助金) (㊤ 18,800千円)
市町村や県の健康増進事業に協力するとともに、予防医学や健康づくりの適切な情報や研究成果を提供
- 健康長寿大規模コホート助成事業
【予算額】24,000千円(県補助金) (㊤ 24,000千円)
「奈良県健康長寿コホートスタディ」に資するため、県内在住者、通学・通勤者、医療機関受診者を対象とした本学教員が行うコホート研究に対し助成

地域貢献(診療関連)

- ドクターヘリ運航施設整備事業
【予算額】489,900千円(県補助金) (㊤ 506,000千円)
- ドクターヘリ運航推進事業
【予算額】251,300千円(県補助金) (㊤ 54,700千円)
ドクターヘリ運航にかかるヘリポートの整備及び運航委託経費
- 周産期医療体制の強化
【予算額】12,300千円(県委託金等) (㊤ 12,700千円)
母体・新生児搬送コーディネーターの運営、新生児蘇生・救急講習会の実施など
- 認知症疾患医療センターの運営
【予算額】1,700千円(県補助金等) (㊤ 1,300千円)
他機関との連携による認知症者への支援の充実及び認知症に関する診断・治療技術の向上を推進
- 都道府県がん診療連携拠点病院関連経費
【予算額】8,000千円(県補助金等) (㊤ 6,300千円)
奈良県内におけるがん診療の中核的役割を果たすための運営経費
- 新 県全体の医療安全推進体制への参画
新たに設置される「(仮称)医療安全推進センター」の運営に協力するとともに、「(仮称)医療安全情報検討委員会」に参画

まちづくり

- 新 MBT研究所運営事業
【予算額】36,000千円(外部資金間接費等) (㊤ - 千円)
MBTの認知度の向上、他機関とのさらなる連携による研究の深化、ICTを活用した退院支援・見守り・地域包括ケアシステムへの展開やサービス創出を行っていくための拠点としての研究所運営費
- 新 将来像推進事業
【予算額】3,500千円(県補助金) (㊤ - 千円)
「医大の目指すべき将来像」の趣旨や内容を学内外に徹底周知し、法人職員らによる共有と実現に向けた取組の進展を図るための経費
- 大学移転推進事業
【予算額】40,500千円(県補助金等) (㊤ 100,000千円)
施設整備基本計画策定支援事業、キャンパスだより発行事業
- 医大周辺まちづくりプロジェクト事業
【予算額】414,400千円(県補助金) (㊤ 55,000千円)
農業研究開発センター除却工事、新キャンパス移転地各種調査経費
- A棟改修事業
【予算額】46,600千円(長期借入金) (㊤ 78,900千円)

法人運営

- 新 ガバナンス体制充実強化事業
【予算額】11,000千円(県補助金) (㊤ - 千円)
新たに制定したシンボルマークを配した、法人旗、徽章、職員証・学生証を作成し、職員および学生の帰属意識・愛学精神を醸成
- 新 法人化10周年記念事業
【予算額】4,000千円(自己収入) (㊤ - 千円)
法人化10周年の節目に、奈良県立医科大学の更なる飛躍へ向かう姿を示すための式典を開催
- 新 情報発信事業
【予算額】500千円(県補助金) (㊤ - 千円)
法人紹介パンフレット(日本語版・英語版)を作成し、広く内外へ情報発信
- 情報システムの運営・整備
【予算額】64,900千円(自己収入) (㊤ 57,700千円)
学内LANの保全、情報セキュリティ強化等に必要な経費
- 新 人材育成プログラム策定事業
【予算額】5,000千円(自己収入) (㊤ - 千円)
職員の能力向上を図るための人材育成プログラム策定支援をコンサルタントに委託
- SD研修事業
【予算額】4,400千円(県補助金等) (㊤ 2,600千円)
職員に対して研修を実施し、業務能力向上を図る
(新 外国語研修 外国人患者への対応力向上)
- 健康管理事業
【予算額】27,000千円(自己収入) (㊤ 23,300千円)
学生及び職員の心身の健康維持のため、定期健康診断や様々な検査を実施
- なかよし保育園の運営
【予算額】89,200千円(保育料収入、県補助金等) (㊤ 89,500千円)
職員の保育ニーズに対応するため、運営委託、病児保育委託を実施
(増加する保育ニーズに対応するため、施設の増築等を検討・実施)
- 新 法人経営プロジェクト
【予算額】4,300千円(自己収入) (㊤ - 千円)
持続可能な経営基盤を確立するため、経営指標データの一元管理およびモニタリングを実施
- 長期借入金償還金
【予算額】1,651,000千円(自己収入、運営費交付金) (㊤ 1,557,600千円)

◆平成29年度予算の主要事業・新規事業 II

教育

○ 良き医療人育成推進事業

【予算額】 53,400千円（県補助金）(㊤ 40,300千円)
豊かな人間性に基づいた高い倫理観と旺盛な科学的探求心を備え、最善の医療提供を実施し続けようとする強い意志を持った医療人の育成を目指す

◆臨床英語教育の充実

㊤少人数でのグループラーニングを導入

◆リサーチ・クラークシップの実施

㊤学外(海外・国内)施設へ派遣

◆奈良学の開催

㊤奈良県が置かれている環境と医療状況の理解及び把握

◆臨床手技実習の充実

㊤医学科1年生から4年生まで臨床手技実習を段階的に実施

◆外部評価委員会の運営

㊤カリキュラム・シラバスの外部評価制度の導入

◆リベラルアーツの充実

㊤倫理・人間性教育に関する科目を実施(医療安全学、実践的医療倫理など)

新 Student lab運営経費

【予算額】 9,500千円（県補助金）(㊤ - 千円)
学生の自主研究の支援を目的とした体制整備

○ 学生自主研究活動、海外実習等の支援

【予算額】 7,000千円(授業料、県補助金)(㊤ 2,000千円)
学部研究生の学会参加支援、講座への支援、海外実習等助成、西日本医学生学術フォーラムの開催など

○ 教育設備・備品更新事業

【予算額】 15,300千円（授業料）(㊤ 4,200千円)
老朽化した教育設備・備品を更新
(バーチャルスライド整備、看護第1及び第2合同講義室プロジェクター更新など)

新 学生関連助成事業

【予算額】 36,700千円（基金繰入金）(㊤ - 千円)
学生の国内外での実習にかかる費用の一部助成、クラブ活動への助成等

○ 大学院奨学金(大学院博士課程)

【予算額】 11,000千円（基金繰入金）(㊤ 12,500千円)
入学希望者の負担を軽減し、課程修了者を広く輩出することを目的として一定の要件を満たす者に対し、入学料の減免措置や奨学金を貸与

研究

新 重点研究推進事業

【予算額】 15,000千円（県補助金等）(㊤ - 千円)
・血栓止血の制御に関する研究
・画像下での低侵襲医療(IVR)に関する研究

○ 研究評価委員会運営費

【予算額】 2,000千円（県補助金）(㊤ 4,100千円)
各講座・領域等についての外部専門家を含む評価体制の構築

○ 特別研究活動助成事業

【予算額】 20,000千円（県補助金）(㊤ 20,000千円)
大学全体の研究活動の一層の活性化を図るため、全学的・横断的に取組む共同研究を支援

○ 若手研究者への海外旅費支援

【予算額】 1,000千円（県補助金）(㊤ 1,000千円)
若手研究者に対し、学会発表などのための海外旅費を支援

○ 若手研究者研究活動助成事業

【予算額】 5,000千円（県補助金）(㊤ 5,000千円)
優れた学術研究を行っている若手研究者に対し、更なる研究の発展を支援

○ 女性研究者研究活動支援事業

【予算額】 30,600千円（県補助金）(㊤ 28,800千円)
育児・介護中などの女性研究者支援のため、研究支援員の配置、相談業務などを実施(新 女性研究者科研費獲得支援のための指導業務を委託)

○ 産学官連携事業(寄附金・大学受託研究費間接費事業)

【予算額】 32,900千円（外部資金）(㊤ 37,300千円)
産学官連携推進センターの運営、知的財産の管理、知財活用戦略検討など産学官連携推進にかかる経費

新 倫理審査システム導入事業

【予算額】 13,100千円（県補助金）(㊤ - 千円)
本学の認定臨床研究審査委員会の認定取得に向けて、医の倫理委員会の毎月開催実施に伴い、システムを導入して円滑な業務を推進

○ 教養教育部門・医学科・看護学教科員研究費

【予算額】 166,500千円（自己収入）(㊤ 173,200千円)
平成27年度に見直した配分基準に基づき、各講座・領域に研究費を配分

診療

新 外国人患者受入体制整備事業

【予算額】 4,200千円（自己収入）(㊤ - 千円)
外国人患者の受入体制を整備(多言語対応ツール導入、院内文書・案内の多言語化)

新 研修医確保事業

【予算額】 10,600千円（県補助金）(㊤ - 千円)
優秀な臨床研修医を多数確保するため、教育実績のある臨床指導医を招聘し、魅力的かつ効果的な研修プログラムを実施

新 産科等エステサージサービス提供事業

【予算額】 6,300千円（自己収入）(㊤ - 千円)
産科の個室を利用する患者に対してエステサージを提供し、患者満足の上をを図る

新 オンライン医療安全管理研修実施事業

【予算額】 1,300千円（自己収入）(㊤ - 千円)
オンライン医療情報サービスを利用し、e-ラーニングにより研修機会を確保

○ 診療材料等コスト削減対策事業

【予算額】 2,200千円（自己収入）(㊤ 2,200千円)
専門業者の保有するデータベースを価格交渉に活用し、診療材料費を削減

○ DPC最適化事業

【予算額】 5,700千円（自己収入）(㊤ 4,100千円)
病院職員対象の保険診療講習会の開催、経営分析ソフトの導入・活用

○ 臨床研究センター運営費

【予算額】 98,400千円（外部資金間接費等）
臨床研究センターの運営に必要な人件費および経費

○ 総合医療情報システム更新準備事業

【予算額】 17,500千円（自己収入）(㊤ 5,000千円)
平成30年度に予定しているシステム更新に向けた準備支援委託経費等

新 脳波室改修事業

【予算額】 39,000千円（自己収入）(㊤ - 千円)
検査の円滑実施のため、脳波室に電波・防音シールドを整備

○ 大型設備更新事業

【予算額】 550,000千円（長期借入金等）(㊤ 778,000千円)
老朽化した大型設備(自家発電機など)について計画的に更新

○ 医療用備品の整備

【予算額】 750,000千円（長期借入金）(㊤ 716,800千円)
【予算額】 84,000千円（自己収入）(㊤ 113,000千円)

労働条件および職場・修学環境の充実(再掲)

1. 労働環境の改善

(1) 労働条件

- 医師の勤務体制の検討 【予算額】 500千円
- 長時間労働の縮減対策の検討(プレミアムデーの検討など) 【予算額】 500千円
- ワークライフバランス充実強化事業 【予算額】 500千円
(ワークライフバランスに関するアンケート調査)
- 健康管理事業
 - ・職員・学生の健康管理(附属病院受診時の助成など) 【予算額】 23,200千円
 - ・ストレスチェック 【予算額】 3,800千円

(2) 人材育成

- 新 人材育成プログラム策定 【予算額】 5,000千円
- SD研修事業 【予算額】 4,400千円
- 病院職員研修事業 【予算額】 7,100千円
- 看護職員研修事業 【予算額】 19,100千円
- 研修医確保事業 【予算額】 10,600千円

2. 職場・修学環境の充実

(1) 未来への飛躍基金の積極的活用(右欄参照)

(2) その他職場環境の充実

- 新 保育園の増築検討 【予算額】 500千円
- 新 新シンボルマーク等の活用 【予算額】 11,600千円
(職員証・学生証、徽章、法人旗、記念品の作成など)
- 新 外国人患者受入体制整備事業 【予算額】 4,200千円
(タブレット端末導入などによる外国人患者受入時の負担軽減)
- 病院施設改修事業 【予算額】 35,000千円
- 病院職員被服貸与事業 【予算額】 39,000千円
(デザイン・貸与枚数等見直し)

(3) その他修学環境の充実

- 医学科・看護学科設備・備品更新事業 【予算額】 15,300千円
(解剖実習室エアコン設置、バーチャルスライド、プロジェクター更新)
- 学生アメニティ向上事業 【予算額】 5,700千円
(看護学科棟講義室椅子更新、トイレへの音姫設置など)
- 新 インターネット出願システム導入事業 【予算額】 1,600千円
(出願方法多様化による学生および入試事務の負担軽減)
- 新 Student lab運営経費 【予算額】 9,500千円

未来への飛躍基金活用事業(再掲)

1. 学生に対する支援

(1) 医学科

- 大学院医学研究科博士課程入学者に対する奨学金
- リサーチ・クラークシップ(研究室への実習)への助成
- 研究室配属実習への助成
- 臨床実習への助成

(2) 看護学科

- 海外研修(国際看護論Ⅱ)への助成
- その他看護学科学生に対する支援

(3) 共通

- ADVANCED CLINICAL ENGLISHⅡ(海外留学)への助成
- その他海外研修への助成
- クラブ活動への助成
- 新入生の応援

2. 教職員・学生に対する支援

- 職員提案による職場・修学環境の充実
(大講堂の整備など)

3. その他

- 健康長寿イベント開催への助成
- 寄附者への顕彰

平成29年度予算編成方針

1. 中期計画の実行・医大の将来像の実現に関わる取組、キャンパス整備を推進するための取組については、県等の支援を活用し、必要な予算を確保する。
2. 事業実施等の前提となる課題の分析を十分に行い、解決に向けた道筋を明らかにした上で、必要な予算の見積もりを行う。
3. 執行状況の確認・検証を行うため、目標（計画）を明確に定める。
4. 主要な施設整備や機器等の導入効果、人員の配置効果の検証を行い、改善策を検討し、予算の見積もりに反映させるとともに、新たな投資の必要性の判断基準のひとつとする。

○取組内容

（1）中期計画等関連予算

予算協議時に、中期計画実行、将来像実現及びキャンパス整備関連予算の区分の記載を求める。

（2）課題分析・解決策の明確化

主要事業について、課題分析や解決への道筋などを記載した資料の提出を求める。

（3）目標（計画）の明確化

予算協議書へ、目標となる数値等の記載を求める。

（4）人員の配置効果の検証

配置効果の検証結果及び課題抽出・改善策等について、予算協議時に資料の提出を求める。

（5）医療機器・施設整備

上記の当初想定投資効果、一定期間経過後の実績、課題抽出・改善策について、予算協議時に資料の提出を求める。

平成29年度予算の内容



地域貢献予算の概要

第2期中期計画 I 地域貢献

1 医療人の育成（医師関連）

- 教養教育等を通じ奈良への愛着、県内の地域医療に対する意識を涵養するとともに、(仮称)県立医大医師派遣センターを設置・運営し、県内への高い就職率を確保する。
- (仮称)県費奨学生配置センターを設置し、県等との連携のもと、医師派遣システムを構築することにより、地域に必要な医師配置の実現に積極的に寄与する。

医療人の育成（看護師関連）

- (仮称)看護実践・キャリア支援センターを設置・運営する等、看護学生の就労支援を行い、県内就職率の向上に努める。

2 看護師の地域貢献

- 認定看護師・専門看護師を増やすとともに、附属病院看護部と看護学科が協働・連携する体制を構築し、看護職員等の教育・研修プログラム及びキャリア支援を充実させることにより、地域の看護師のレベルアップを目指す。

3 研究成果等の地域への還元

- 住居医学講座や(仮称)大和漢方医学薬学センター、スポーツ医学講座等を核として産学官連携による研究推進に取り組む。

4 健康増進の県民アプローチの充実

- 市町村や県が実施している健康増進事業に協力するとともに、予防医学や健康づくりの適切な情報や研究成果を提供することにより地域住民のセルフケアを支援する。

5 断らない救急医療体制の整備

- 県内の救急医療に関する諸機関の連携体制のもと、重篤な救急患者の受入を中心に、病院全体として断らない救急医療の実現に取り組む。

6 周産期医療体制の強化

- 総合周産期母子医療センターの機能充実と施設間ネットワークとの連携を図ることにより母体・新生児搬送受入率100%を目指すとともに、周産期医療を担い推進する人材(新生児科医、産科医、小児科医、小児外科医、助産師、看護師等)を養成する。

7 他の医療機関との連携強化

- 各種地域医療連携パス、退院調整の効果的な運用、地域医療連携連絡協議会の活性化、連携登録医制度の導入による逆紹介等の促進により、地域医療連携をより一層推進する。また、基幹型認知症疾患医療センター、中核的な緩和ケアセンターを設置・運営する。

8 県内医療人への助言・指導

- 県・市町村医師会や県看護協会と協働して、最新技術・情報を学べる研修やスキルスラボ実習を企画・実施するとともに、メーリングリスト等を活用した情報発信を行い、県内医療人のレベルアップに貢献する。

<教育関連>

平成29年度 年度計画

1. 医療人の育成（医師関連）

医師派遣システムの適切な実行

（（仮称）県立医大医師派遣センターの設置・運営）

- (1) 医師配置の一元的な運営体制をさらに整備するために、引き続き医局及び関連病院との調整・連携を進める。
 - ・医師配置の円滑な実施のため、派遣医師の把握・支援、医師派遣システムの運用説明会等の取組を実施する。
 - ・医師配置の透明性・客観性の確保のために、奈良県医師配置評価委員会で医師配置の適正性に関する評価を受け、その見解を適切な医師配置に反映させる。
- (2) 平成28年度に実施した「奈良学」の授業評価を踏まえ、カリキュラムをブラッシュアップする。

1. 医療人の育成（医師関連）

医師派遣システムの適切な実行

（（仮称）県費奨学生配置センターの設置・運営）

- ・奈良県内に従事する医療人を育成するために、特別枠（緊急医師確保枠）の入学生及び県費奨学生に対する新しいカリキュラムの導入、強化を図るとともに、入学式当日に保護者説明会を開催するなど、奨学生と保護者への対応を強化する。
- ・先輩医師による「キャリアパスを語る会」を開催し、県費奨学生のキャリア形成を支援する。

1. 医療人の育成（看護師関連）

- (1) 看護学科学生への系統だったキャリアデザインプログラムを実施する。
 - ・卒前学生への基本的看護技術トレーニングを実施する。
 - ・実習指導者の教育能力育成プログラムを実施する。
 - ・上級臨床指導者育成プログラムを実施する。
- (2) 奈良県からの補助金を財源とした奨学金を受給する看護学科学生を対象として、「在宅看護特別教育プログラム」を実施する。

2. 看護師の地域貢献

- (1) 各分野ごとの活動状況等を報告会で情報提供し、専門・認定看護師資格取得の意向を調査する。
 - ・目指す専門・認定看護師の活動に同行し動機付けを強化する。
- (2) より専門性の高い高度実践看護師の養成を大学院修士課程として取り組みの具体化を検討する。
 - ・看護師特定行為研修について、「急性期コース」を引き続き実施するとともに、「（仮称）在宅看護コース」の平成30年度研修開始に向けて、国への申請、受講者募集等を行う。
 - ・看護師への在宅医療に関する再教育に係る履修証明制度導入に向けての具体的検討を行う。
- (3) 在宅看護特別教育プログラムに準ずる短期型の研修プログラムを作成し、訪問看護ステーション、介護施設等の地域機関と連携した研修を促進して看護のレベルアップを図る。
 - ・「認知症を持つ患者への対応力向上研修会」受講修了者の意見交換など活動計画案を作成し、看護職をはじめとする医療職者に知識・技術を広める。
- (4) 看護実践・キャリア支援センターを中心として情報交換を行いながら、相互（病院看護部、大学看護学科、看護協会）の連携を強化し、共に教育研修を進める。
- (5) スキルラボの利用促進を図るとともに、地域へのオープン化の具体策を決定する。

関連予算

		(千円)
事業名	内容	予算額
県立医大医師派遣センター運営事業	県内の公立・公的病院等からの医師派遣要請に対応し、医師のマッチングを行う県立医大医師派遣センターを運営	21,800 (28) 16,800)
県費奨学生配置センター運営事業	県費奨学生(緊急医師確保修学資金・医師確保修学資金)の地域配置を行う県費奨学生配置センターを運営	5,100 (28) 5,400)
地域医療学講座事業費	県からの補助金を財源に、地域医療に関する研究を行う講座を設置	25,500 (28) 25,100)
(新)研修医確保事業	優秀な臨床研修医を多数確保するため、教育実績のある臨床指導医を招聘し、魅力的かつ効果的な研修プログラムを実施	10,600 (28) —)
「奈良学」開催事業	奈良を愛し、奈良に貢献する医療人を育成するために平成28年度から実施している「奈良学」の授業評価を踏まえ、カリキュラムをブラッシュアップする	400 (28) 900)
看護実践・キャリア支援センター運営事業	看護学科学生及び看護師の教育、研修及び研究の支援、キャリア支援等を行う看護実践・キャリア支援センターを運営	23,000 (28) 23,400)
在宅医療看護人材育成支援奨学金	県内における在宅医療看護を牽引するリーダーを育成するため、一定の要件を満たす者に対し奨学金を貸与	8,400 (28) 6,000)
在宅医療看護特別教育プログラム運営費	奈良県からの補助金を財源とした奨学金を受給する看護学科学生を対象に、「在宅看護特別教育プログラム」を実施	1,700 (28) —)
特定行為研修運営事業	厚生労働大臣の指定を受け、平成28年1月から実施している看護師特定行為指定研修「急性期コース」を引き続き実施	1,000 (28) —)
(新)特定行為研修(在宅コース)開設準備事業	特定行為研修「(仮称)在宅看護コース」の平成30年度研修開始に向けて、国への申請、受講者募集等を実施	6,000 (28) —)
看護師研修事業	研修・学会などに参加することにより、知識・技術の向上を図り、キャリアアップを目指した事業を実施	19,100 (28) 19,000)
認定看護師養成研修への派遣	専門的な看護能力向上のため、認定看護師教育課程への派遣を実施(※看護師研修事業の内数)	3,000 (28) 3,000)

< 研究関連 >

平成29年度 年度計画

3. 研究成果の地域への還元

- (1) 重点研究推進計画に定めた重点研究課題について、研究推進戦略本部会議において進捗管理の上、推進する。
- (2) ・血栓止血制御に関する研究に向けた取り組みを行う。
・IVRIに関する研究に向けた取り組みを行う。
- (3) 平成28年度に策定した評価システムをモデル的に実施するとともに、ブラッシュアップする。
- (4) 県民への啓発、教育・研究・診療を行うなど大和漢方医学薬学センターを運営する。
- (5) 橿原市・コンソーシアム企業及び早稲田大学と連携してMBT (Medicine-Based Town)に関する諸事業を実施する。

4. 健康増進の県民アプローチの充実

- (1) ・県・市町村から依頼を受けて保健事業にかかる助言・調査・データ分析を行う。
・県・市町村の保健師等を対象に、データ分析に基づいた県民の健康づくりや健康長寿に関する研修を実施する。
・県民健康増進支援センターの活動等をホームページやニュースレター等に掲載し、広く公表する。
- (2) ・公開講座「くらしと医学」を年2回開催する。予防医学の研究成果だけでなく、より実践的な情報（例えば、生活習慣の改善方法など）を提供し、日常の健康づくりを推進するようなテーマを盛り込んでいく。
・平成28年度後期に実施したパネルディスカッション形式の参加者満足度を分析し、よりよい講演内容を検討する。
- (3) ・健康長寿大規模コホート研究の進捗状況を確認し、研究を継続実施する。

関連予算

(千円)

事業名	内容	予算額
(新) 重点研究推進事業	重点研究推進計画に定めた重点研究課題について、研究推進戦略本部会議において進捗管理を行い推進 ⑳ 血栓止血制御に関する研究、IVRに関する研究	15,000 (㉘ —)
学外有識者委員会運営費	教育・研究・診療各分野への評価・提言をいただく学外の高名な有識者による「学外有識者運営委員会」の運営費	1,500 (㉘ 2,000)
研究評価委員会運営事業	研究の適切な成果評価を行うため、外部有識者を含む評価委員会を運営	2,000 (㉘ 4,100)
大和漢方医学薬学センター運営事業	漢方の県民への啓発、教育・研究、診療を行うなど大和漢方医学薬学センターを運営	16,900 (㉘ 23,000)
MBT研究所運営事業	橿原市・コンソーシアム企業及び早稲田大学と連携してMBT (Medicine-Based Town) に関する諸事業を実施	36,000 (㉘ —)
県民健康増進支援センター運営事業	市町村や県の健康増進事業への協力、公開講座の開催など地域住民のセルフケアを支援する、県民健康増進支援センターを運営	18,500 (㉘ 18,800)
公開講座の開催	「くらしと医学」をテーマに、広く県民を対象に講座を開催 日程：平成29年9月、平成30年2月(予定) 場所：橿原文化会館、奈良県文化会館 (※県民健康増進支援センター運営事業の内数)	1,450 (㉘ 1,170)
糖尿病学講座事業費	県からの補助金を財源に、糖尿病に関する研究を行う講座を設置	31,800 (㉘ 34,200)
(新) 倫理審査システム導入事業	本学の認定臨床研究審査委員会の認定取得に向けて、医の倫理委員会の毎月開催実施に伴い、システムを導入して円滑な業務を推進	13,100 (㉘ —)
(新) 健康長寿イベント助成事業 (基金活用事業)	MBTの一環として、イオンモール橿原で健康長寿イベントを開催	1,000 (㉘ —)
健康長寿大規模コホート助成事業	「奈良県健康長寿コホートスタディ」に資するため、県内在住者、通学・通勤者、医療機関受診者を対象とした本学教員が行うコホート研究に対し助成	24,000 (㉘ 24,000)

< 診療関連 >

平成29年度 年度計画

5. 断らない救急医療体制の整備

「断らない救急医療」実現のためのさらなる体制の整備と強化を行う。

- ・土日ERIについて、後方支援病院と連携しながら、現行の土日に加え、祝日も実施する。
- ・ドクターヘリを運用する。
- ・関連病院と重症腹症(腹痛・吐下血)救急患者受入ネットワークを運用する。
- ・医師等救急医療従事者の負担軽減対策を実施(急性期コースの特定看護師の育成等)する。
- ・高度救急医療を担う医師の確保及び養成に努める。

6. 周産期医療体制の強化

リスクの高い妊婦に対する医療や高度な新生児医療等の周産期医療を担う本院総合周産期母子医療センターの円滑な運営を以下の通り行う。

- ・母体搬送コーディネーター事業を引き続いて実施する。
- ・周産期医療を担う医師、助産師、看護師等の人材養成・確保に努める。
- ・周産期医療従事者等への研修会を開催する。

7. 他の医療機関との連携強化

- (1) 地域医療機関との連携を強化し、予約診療および逆紹介等の促進を図る。
- (2) 地域医療連携パスおよび退院調整の効果的な運用を促進する。
- (3) がん看護外来の充実、緩和ケア地域連携カンファレンスの開催等、都道府県がん診療連携拠点病院に求められる機能の充実により、中核的な緩和ケアセンターとしての役割を果たす。
- (4) 認知症センターを引き続き運営する。
- (5) ・リーフレットの配布やホームページの更新により、医療情報を発信する。
 - ・地域医療連携を推進する「地域医療連携懇話会」及び「なら地域医療連携実務者協議会」を各々1回以上開催する。
 - ・地域医療従事者を対象とした研修会を開催する。

8. 県内医療人への助言・指導

- (1) ・リーフレットの配布やホームページの更新により、医療情報を発信する。
 - ・地域医療連携を推進する「地域医療連携懇話会」及び「なら地域医療連携実務者協議会」を各々1回以上開催する。
 - ・地域医療従事者を対象とした研修会を開催する。
- (2) ・スキルスラボの利用促進を図るとともに、地域へのオープン化の具体策を決定する。

関連予算

(千円)

事業名	内容	予算額
土日24時間ER体制の実施	県が推進する「断らない救急医療体制」に寄与するため、 現行の土日に加え、祝日においてもER体制を実施(従事 医師にER手当等を支給)	53,100 (28) 46,400
ドクターヘリ運航施設整備事業	附属病院C棟屋上へのヘリポート整備費用 (工程遅延により29再計上)	489,900 (28) 506,000
ドクターヘリ運航推進事業	ドクターヘリ運航業務委託経費	251,300 (28) 54,700
周産期医療体制強化事業	母体・新生児搬送コーディネーターの運営、新生児蘇生・ 救急講習会の実施など	12,300 (28) 12,700
総合周産期母子医療センターの 運営	奈良県及び国からの補助金を受け、総合周産期母子医療 センターを運営(補助額を計上)	162,800 (28) 159,200
地域医療連携事業	初診紹介患者予約診療、転退院調整、地域医療連携パス の実施、地域医療連携懇話会の開催、なら地域医療連携 実務者協議会の実施など	1,400 (28) 1,500
地域医療連携システム運営事業	平成25年度に導入した「地域医療連携システム」の保守に 係る経費	1,000 (28) 1,000
初診紹介予約システム運営事業	平成28年度に整備した利便性の向上、インターネットによ る患者本人からの予約を可能とするなど予約システムの機 能向上を図る目的で整備したシステムの保守に係る経費	500 (28) 4,000
都道府県がん診療連携拠点病院 関連経費	がん診療における県の中心的な役割を果たすため、がん 診療連携協議会、がん相談、まほろばPEACE緩和ケア研 修会などの諸事業を実施	27,900 (28) 28,800
認知症疾患医療センター運営事 業	地域における認知症疾患の保険医療水準の向上ため、医 療機関等との連携、鑑別診断、急性期治療、専門医療相 談及び医療・介護従事者への研修等を実施	1,700 (28) 1,300
(新) 県全体の医療安全推進体制 への参画	新たに設置される「(仮称)医療安全推進センター」の運営に協力するととも に、「(仮称)医療安全情報検討委員会」に参画	
肝疾患相談センター運営事業	県の肝疾患連携拠点病院の役割を果たすため、患者や家 族に対する相談支援などを行うセンターを県からの支援に より運営	12,700 (28) 12,200

教育予算の概要

第2期中期計画 II 教育

1 リベラルアーツ教育の実践 医の心をもった医療人の育成 医療経営に関する教育の確保

○カリキュラムの見直し・再構築を行い、医療人にふさわしい教養や倫理観を培うリベラルアーツ教育、および国際感覚、実践的英語能力等の習得を目的とした幅広い教育を強化する。

2 教育内容の評価

○教員の教育力向上のためのFD(Faculty Development)活動の活性化および教員と学生の双方向性の授業評価システムを構築することにより、講義・実習・研修内容の充実を図る。

3 老朽・狭隘施設への対策

○新キャンパスへの教育・研究部門の移転計画を積極的に推進する。

平成29年度 年度計画

1. リベラルアーツ教育の充実 医の心を持った医療人の育成 医療経営に関する教育の確保

- (1)平成28年度に実施した「良き医療人育成のためのプログラム」の評価を踏まえブラッシュアップする。
 - ・外部委員による評価を踏まえ、カリキュラムをブラッシュアップする。
- (2)外部評価及び新医学モデルコアカリキュラムを踏まえ、平成30年度実施に向けたカリキュラム改定作業を実施する。
- (3)医師又は看護師になる自覚に関する調査等を全学生に実施する。

2. 教育内容の評価

- (1)医学科および看護学科において、授業評価を実施し、評価結果を教員に通知する。
 - ・教員に評価結果を基にした授業改善調査及び経年的な改善の有無の調査を実施する。
 - ・授業評価の集計結果を分析し公表する。
 - ・評価方法等の見直しなど、授業評価を工夫する。
- (2)医師又は看護師になる自覚に関する調査等を全学生に実施する。
- (3)平成28年度FD活動実績に基づく表彰式を実施するとともに、表彰記事を学報に掲載する。
- (4)教員を対象とした研修会を定期的実施し、研修結果を分析・評価する。
 - ・新任教員の受講義務化を徹底する。
 - ・研修会の参加者増につなげるため、実施前の案内を徹底するとともに、研修形式等の工夫と内容強化を図る。

3. 老朽・狭隘施設への対策

「施設整備基本構想」を基礎として、新キャンパスの「施設整備基本計画」を検討し、法人内及び県との意見交換・協議により、内容の具体化とコンセンサス形成を進める。

(千円)

事業名	内容	予算額
入試関係費	センター試験、医学科・看護学科の入試にかかる経費、オープンキャンパス実施経費など学生募集にかかる経費 ⑳(新)インターネット出願の導入	30,600 (㉘ 26,800)
大学院入学料減免事業 (医学研究科・看護学研究科)	入学希望者の負担を軽減し、課程修了者を広く輩出することを目的として、一定の要件を満たす者に対し、入学料の減免措置や奨学金を貸与	2,100 (㉘ 2,200)
大学院奨学金貸与事業 (大学院博士課程) (基金活用事業)		11,000 (㉘ 12,500)
授業料減免事業 (医学科・看護学科)	経済的に困窮した学生を支援するため、授業料の減免事業を実施	14,300 (㉘ 17,500)
研究医養成コースの運営	基礎医学・社会医学研究者の養成を図るために設置した研究医養成コースの運営にかかる経費	1,400 (㉘ 2,000)
研究医梓奨学金	研究医養成コース受講者に奨学金を貸与	28,800 (㉘ 24,000)
附属図書館の運営・設備充実	電子ジャーナル、図書の購入など附属図書館の運営の充実に必要な経費	83,900 (㉘ 88,100)

研究予算の概要

第2期中期計画 III 研究

1 研究の適切な成果評価

○研究に関する外部有識者を含む自己評価委員会を設置・運営するとともに、教室主任に研究目標の明確化を求め、達成状況を自己評価させ、極めて高い研究業績をあげた者に対する顕彰制度を新設する。

2 有能な研究者の獲得

○研究医養成コースの充実に加え、学内共同研究プロジェクトや若手研究者への支援制度の充実等により、基礎医学・社会医学・臨床医学の研究を推進する高度な知識・能力と意欲を持つ研究人材を育成し、大学全体の研究競争力を高める。

3 健康・予防医療等研究範囲の拡大

○OMBT構想や奈良県健康長寿コホートスタディ等について計画・推進し、住民の健康増進に貢献するリビングサイエンスを推進する。

4 研究環境の改善

○新キャンパスへの教育・研究部門の移転計画を積極的に推進する。(再掲: II-3)

平成29年度 年度計画

1. 研究の適切な成果評価

- (1) 重点研究推進計画に定めた重点研究課題について、研究推進戦略本部会議において進捗管理の上、推進する。
- (2) ・血栓止血制御に関する研究に向けた取り組みを行う。
・IVRIに関する研究に向けた取り組みを行う。
- (3) 平成28年度に策定した評価システムをモデル的に実施するとともに、ブラッシュアップする。

2. 有能な研究者の獲得

- (1) 重点研究推進計画に定めた重点研究課題について、研究推進戦略本部会議において進捗管理の上、推進する。
- (2) ・血栓止血制御に関する研究に向けた取り組みを行う。
・IVRIに関する研究に向けた取り組みを行う。
- (3) ・学生の自主的な研究活動に対する支援制度を引き続き運用する。
・第6回医学研究学生フォーラム(西日本の医科大学・大学医学部における自主研究発表会)を主催する。
- (4) 研究推進戦略本部において、特別共同研究助成事業や若手研究者研究助成事業の募集、対象者決定、助成などを引き続き実施する。また、特別共同研究助成事業の成果発表会を実施する。
- (5) ・女性研究者支援センターを中心に女性研究者の研究継続支援など女性研究者への支援を継続する。
・女性研究者支援に関する広報・啓発活動を継続実施する。
・女性研究者表彰制度を継続実施する。
・女性研究者科学研究費獲得支援事業を実施する。

3. 健康・予防医療等研究範囲の拡大

- (1) 重点研究推進計画に定めた重点研究課題について、研究推進戦略本部会議において進捗管理の上、推進する。
- (2) ・血栓止血制御に関する研究に向けた取り組みを行う。
・IVRIに関する研究に向けた取り組みを行う。
- (3) 橿原市・コンソーシアム企業及び早稲田大学と連携してMBTIに関する諸事業を実施する。
- (4) 健康長寿大規模コホート研究の進捗状況を確認し、研究を継続実施する。

4. 研究環境の改善

「施設整備基本構想」を基礎として、新キャンパスの「施設整備基本計画」を検討し、法人内及び県との意見交換・協議により、内容の具体化とコンセンサス形成を進める。

関連予算

(千円)

事業名	内容	予算額
(新) 重点研究推進事業(再掲)	重点研究推進計画に定めた重点研究課題について、研究推進戦略本部会議において進捗管理を行い推進 ⑳ 血栓止血制御に関する研究、IVRに関する研究	15,000 (㉘ ー)
学外有識者委員会運営費(再掲)	教育・研究・診療各分野への評価・提言をいただく学外の高名な有識者による「学外有識者運営委員会」の運営費	1,500 (㉘ 2,000)
研究評価委員会運営事業(再掲)	研究の適切な成果評価を行うため、外部有識者を含む評価委員会を運営	2,000 (㉘ 4,100)
学生自主研究活動支援事業(再掲)	学生のカリキュラム外での自主的・継続的研究活動を支援 学会等参加費、受入教室への支援など	2,700 (㉘ 2,000)
(新) 西日本医学生学術フォーラム開催経費(再掲)	本学が幹事校として主催するフォーラムの開催経費	800 (㉘ ー)
特別研究活動助成事業	大学全体の研究活動の一層の活性化を図るため、全学的・横断的に取り組む共同研究を支援 予算内で原則2課題、2年間助成	20,000 (㉘ 20,000)
若手研究者研究活動助成事業	優れた研究を行っている若手研究者に対し、更なる研究の発展を支援 予算内で原則10課題、1年間助成	5,000 (㉘ 5,000)
若手研究者への支援	若手の国際学会発表の機会を増大させ、国際的に活躍できる人材の育成のため、渡航費の一部を支援	1,000 (㉘ 1,000)
女性研究者研究活動支援事業	女性研究者が研究を継続・発展させ、キャリアアップを図ることができる環境整備を実施(女性研究者支援センターの運営費) ⑳(新) 科学研究費獲得支援	30,600 (㉘ 28,800)
産学官連携活動事業	産学官連携推進センター特任教授の配置、シーズ出展、シーズ・ニーズの情報発信、シンポジウム開催など産学官連携に必要な経費	32,900 (㉘ 37,300)
MBT研究所運営事業(再掲)	橿原市・コンソーシアム企業及び早稲田大学と連携してMBT(Medicine-Based Town)に関する諸事業を実施	36,000 (㉘ ー)
(新) 倫理審査システム導入事業(再掲)	本学の認定臨床研究審査委員会の認定取得に向けて、医の倫理委員会の毎月開催実施に伴い、システムを導入して円滑な業務を推進	13,100 (㉘ ー)
健康長寿大規模コホート助成事業(再掲)	「奈良県健康長寿コホートスタディ」に資するため、県内在住者、通学・通勤者、医療機関受診者を対象とした本学教員が行うコホート研究に対し助成	24,000 (㉘ 24,000)

(千円)

事業名	内容	予算額
総合研究施設運営費	動物実験施設管理委託、研究機器保守委託など総合研究施設の維持・運営に関する経費	98,400 (28) 97,300
医学科・看護学科・教養教育部門 教員研究費	平成27年度に見直した配分基準に基づき、各講座・領域に研究費を配分	166,500 (28) 173,200
科研費申請事業	科学研究費研究計画調書の作成指導、勉強会・講習会の開催などにより採択率向上を図る	2,800 (28) 2,800
ゲストハウス運営事業	ゲストハウスの借上経費(9月まで)及び新ゲストハウスの光熱水費等	3,000 (28) 4,600
ゲストハウス整備事業	新ゲストハウスを橿原市今井町に整備 (平成29年10月に完成予定) (工程遅延により再計上)	50,000 (28) 50,000
研究用大型備品の整備	総合研究棟に設置されている共用研究備品が老朽化しているため、整備計画に基づき、年次的に更新	13,000 (28) 13,000
寄附講座の設置	人工関節・骨軟骨再生医学講座、スポーツ医学講座、血友病治療・病態解析学講座、手の外科講座(間接経費を除く)	61,500 (28) 68,200
臨床研究センター運営費	臨床研究センターの運営に係る人件費及び経費	98,400 (28) 92,200

診療予算の概要

第2期中期計画 IV 診療

1 医師・看護師等の離職防止と人材確保

○医師・看護師等の適正な増員と配置及び短時間正規労働制度の導入等によるワークライフバランスの改善を図るとともに学内保育園の充実と利用の促進により、女性医師・看護師等の就職促進と離職防止を図る。

2 がん拠点病院としての機能の充実

○都道府県がん診療連携拠点病院にふさわしい医療体制を構築するとともに、高度先進的な施設・機器を整備することにより、充実したがん治療を実施し、生存率の向上を目指す。

3 治療成績の一層の向上

○(仮称)診療内容向上委員会を設置・運営するとともに、医大版臨床指標(Clinical Indicator)を定めて、診療の質と量に対する現状分析を行い、治療成績の一層の向上を図る。

4 患者満足の一層の向上

○医療人のホスピタリティマインドの醸成及び患者の意見、要望を反映させた病院運営を行い、患者満足の一層の向上を図る。

5 老朽・狭隘施設への対策

○附属病院のさらなる充実を目指し、(仮称)中央手術棟の工程通りの完成と円滑な運営を推進するとともに、新外来棟への早期改築を立案し、早期着工への道筋を示す。また、老朽かつ狭隘な診療関連施設(臨床医学研究棟・臨床研修センター等)の早期改築を行う。

平成29年度 年度計画

1. 医師・看護師等の離職防止と人材確保

ワークライフバランス検討委員会において、以下の取組を実施する。

- ・労働環境の改善、職場環境の充実について、検討を行い、取り組める事柄から迅速に実施する。
- ・年次有給休暇の取得促進、超過勤務の縮減等について、継続して検討を行う。
- ・ワークライフバランスの充実のために行った制度改正等を周知する。
- ・社会的要請、職員のニーズ等を把握し、必要に応じ、制度の見直し等を検討する。
- ・学内保育園の定員増及び園舎増築を検討する。

2. がん拠点病院としての機能の充実

- (1) がん看護外来の充実、緩和ケア地域連携カンファレンスの開催等、都道府県がん診療連携拠点病院に求められる機能の充実により、中核的な緩和ケアセンターとしての役割を果たす。
- (2) ・整備したリニアック等の最新の機器を運用し、がん診療の充実を図る。
・各種研修会の開催・受講等により、がん医療に携わる人材の育成・確保に努める。
・多職種連携によるチーム医療体制の充実に向けた取組を実施する。
- (3) 奈良県内の院内がん登録の分析・評価を行い、結果を関係病院にフィードバックする。

3. 治療成績の一層の向上

臨床指標から分析した改善すべき内容について、医療の現場で原因を調査し、改善の取組方法を検討して取組を進める。

4. 患者満足の一層の向上

- (1) ・患者意見を反映するため、引き続きホスピタリティマインド向上委員会を運営する。
・前年度のホスピタリティマインド醸成研修の実施状況や研修参加者の意見を総合的に勘案し、全ての病院職員がより参加しやすく、より効果的で魅力のある研修が実施できるよう、受講者アンケートの結果等を踏まえ、研修内容を検証のうえ実施方法を検討する。
- (2) ・患者アメニティ向上を図るための施設改修を行う。
・案内業務の充実と質の向上を図る。
- (3) 患者サービス向上のため、入退院管理センターにおいて「入退院時諸手続きのワンストップ化」に向けた取り組みを実施する。

5. 老朽・狭隘施設への対策

- (1) 「施設整備基本構想」を基礎として、新キャンパスの「施設整備基本計画」を検討し、法人内及び県との意見交換・協議により、内容の具体化とコンセンサス形成を進める。
- (2) ・現キャンパスについては、附属病院が将来的に担うべき役割と、それに基づく新A棟等の施設整備内容に関して、県との検討・協議により精査する。
・臨床医学研究棟の仮移転先であるA棟等の改修に係る基本・実施設計を完了し、工事に着手する。

関連予算

(千円)

事業名	内容	予算額
(新) 研修医確保事業(再掲)	優秀な臨床研修医を多数確保するため、教育実績のある臨床指導医を招聘し、魅力的かつ効果的な研修プログラムを実施	10,600 (28 —)
臨床研修医関連経費	臨床研修医の教育のため必要な経費	26,200 (28 21,700)
専門医研修プログラム認定料	専門医制度の変革に伴い必要となる、専門医研修プログラムの認定を受けるための経費	2,000 (28 2,000)
看護職員確保事業	募集広報の充実、内定者辞退防止、新規採用看護師宿舍確保などにより、優秀な看護学生の採用を推進	23,900 (28 22,200)
看護師研修事業(再掲)	研修・学会などに参加することにより、知識・技術の向上を図り、キャリアアップを目指して事業を実施	19,100 (28 19,000)
病院職員研修費	研修・学会などに参加することにより、知識・技術の向上を図り、キャリアアップを目指して事業を実施 (看護職を除く病院職員が対象)	7,100 (28 5,200)
(新) オンライン医療安全管理研修実施事業	オンライン医療情報サービスを利用し、e-ラーニングにより研修機会を確保	1,300 (28 —)
都道府県がん診療連携拠点病院関連経費(再掲)	がん診療における県の中心的な役割を果たすため、がん診療連携協議会、がん相談、まほろばPEACE緩和ケア研修会などの諸事業を実施	27,900 (28 28,800)
院内がん登録事業	都道府県がん診療連携拠点病院として院内がん登録を推進	1,500 (28 1,500)
患者アメニティ向上事業	患者アメニティを向上させるため、施設改修を実施 ⑳外来診察エリアの改修	50,000 (28 50,000)
院内緑化推進事業	観葉植物の賃貸借を行い、「安らぎ」「憩い」のある快適な院内環境を実現	4,200 (28 4,500)
患者満足向上事業	ホスピタリティマインド向上委員会の運営及びホスピタリティマインド醸成研修の実施	2,200 (28 2,200)
院内患者サポート事業	車いす患者にきめ細かく対応するサポート職員を配置し、患者サービスの向上を図る	4,700 (28 4,500)
(新) 産科等エステサービス提供事業	産科の個室を利用する患者に対してエステサービスを提供し、患者満足の向上を図る	6,300 (28 —)
(新) 外国人患者受入体制整備事業	外国人患者の受入体制を整備(多言語対応ツール導入、院内文書・案内の多言語化など)	4,200 (28 —)
A棟改修事業	臨床医学研究棟の仮移転先としてA棟改修を実施 (当初予算は設計費のみ。建設費については、設計後補正予算で対応予定)	46,600 (28 78,900)

(千円)

事業名	内容	予算額
医薬品費	診療に必要な医薬品の購入に要する経費	12,526,000 (28)12,453,000)
診療材料費	診療に必要な診療材料の購入に要する経費	4,155,000 (28)3,927,000)
総合医療情報システムの運営	総合医療情報システムを円滑に運用することにより、診療機能の質的向上、院内の情報共有を推進	247,500 (28) 247,500)
総合医療情報システム更新準備事業	平成30年度に予定しているシステム更新に向けた準備支援委託経費等	17,500 (28) 5,000)
病院運営委託費	貸与被服の洗濯、寝具委託、中材洗浄滅菌等委託など病院の運営に必要な委託経費	315,000 (28) 268,000)
SPD導入事業	院内医療材料物品管理業務委託	54,000 (28) 54,000)
臨床検査委託費	臨床検査のうち、当院でできないもの及びコスト高となるものを外部委託	180,000 (28) 230,000)
哺乳瓶滅菌業務委託費	哺乳瓶等の滅菌・洗浄業務の外部委託	15,600 (28) 5,200)
食事提供業務委託費	入院患者への食事提供業務全般に要する委託費	426,800 (28) 426,000)
医事委託費	総合案内、料金計算・収納、外来受付、入退院受付、外来診療報酬請求などの医事に要する業務を委託	396,000 (28) 373,700)
医療用機器等保守・修繕費	医療用機器等の保守・修繕に要する経費	532,200 (28) 459,000)
病院関連借上費	医療機器レンタル・リースに要する経費	52,500 (28) 53,600)
在宅医療用機器賃借費	在宅医療用機器の借上費	177,200 (28) 163,300)
病院職員被服貸与事業	貸与被服の購入に要する経費	39,000 (28) 30,800)
院内感染防止対策事業	職員のインフルエンザワクチン、4種抗体ワクチン接種経費	5,600 (28) 6,200)
(新)感染予防事業費	委託業者職員への4種抗体、B型肝炎抗原抗体検査・ワクチン接種費用	15,400 (28) —)
医師賠償責任保険料	医療者が安心して医療を提供できる体制の確保のため医師賠償責任保険に加入	20,100 (28) 19,300)
その他病院運営経費	病院職員の旅費、印刷製本費、郵便料、電話料、消耗品など病院運営に必要な経費	93,500 (28) 86,000)

(千円)

事業名	内容	予算額
土日24時間ER体制の実施(再掲)	県が推進する「断らない救急医療体制」に寄与するため、 現行の土日に加え、祝日においてもER体制を実施(従事 医師にER手当等を支給)	53,100 (28) 46,400)
ドクターヘリ運航施設整備事業 (再掲)	附属病院C棟屋上へのヘリポート整備費用 (工程遅延により29再計上)	489,900 (28) 506,000)
ドクターヘリ運航推進事業(再掲)	ドクターヘリ運航業務委託経費	251,300 (28) 54,700)
病院施設の改修	病院施設の機能維持・改善のため施設改修を実施 29第1駐車場改修、B棟屋上防水など	125,000 (28) 92,000)
(新)脳波室改修事業	脳波室に電波・防音シールドを整備し、適正な検査がで きる環境を確保	39,000 (28) —)
大型設備更新事業	老朽化した大型設備について計画的に更新 29C棟ナースコール設計、電話交換機設備工事、 自家発電機設備設計・工事	550,000 (28) 778,800)
医療用機器の整備	県からの長期借入金等を財源として、高度で先進的な機器 など本院の役割にふさわしい医療機器を充実	834,000 (28) 829,800)

まちづくり予算の概要

(キャンパス整備関係予算を含む)

第2期中期計画 V まちづくり

1 教育・研究部門の円滑な移転と新キャンパス整備

○平成33年中の新キャンパスオープンを目指し、教育・研究機能の充実と地域に貢献できる新たな機能を備えた整備計画を進める。

2 地域に開かれたキャンパスづくり

○新キャンパスの構想計画においては、交流広場や緑地等の地域との交流を図る施設、図書館・食堂・コンビニ・グラウンド等を設置し、県民への開放に努める。

3 教育・研究部門移転後の跡地活用

○現キャンパス跡地においては、憩いの広場、診療関連施設、新外来棟等の整備計画を推進するとともに、医大が進めるMBT構想を踏まえ、県と市のまちづくりのグランドデザインに沿った「医療、介護、福祉が連携した健康まちづくり」の整備計画に参画する。

4 移転を契機とした研究分野での地域貢献

○新キャンパスにおいては、(仮称)大和漢方医学薬学センターの設置等、一定規模の産学官連携ゾーンを整備し、県や市と連携しながら、医農商工連携の一層の推進に寄与する。また、他大学との共同大学院構想を策定し、研究部門の強化を図る。

5 健康づくり・予防医療等への貢献

○OMB T構想や奈良県健康長寿コホートスタディ等について計画・推進し、住民の健康増進に貢献するリビングサイエンスを推進する。(再掲:Ⅲ-3)

平成29年度 年度計画

1 教育・研究部門の円滑な移転と新キャンパス整備

「施設整備基本構想」を基礎として、新キャンパスの「施設整備基本計画」を検討し、法人内及び県との意見交換・協議により、内容の具体化とコンセンサス形成を進める。

2 地域に開かれたキャンパスづくり

「施設整備基本構想」を基礎として、新キャンパスの「施設整備基本計画」を検討し、法人内及び県との意見交換・協議により、内容の具体化とコンセンサス形成を進める。

3 教育・研究部門移転後の跡地活用

- (1) 「施設整備基本構想」を基礎として、新キャンパスの「施設整備基本計画」を検討し、法人内及び県との意見交換・協議により、内容の具体化とコンセンサス形成を進める。
- (2) ・現キャンパスについては、附属病院が将来的に担うべき役割と、それに基づく新A棟等の施設整備内容に関して、県との検討・協議により精査する。
・臨床医学研究棟の仮移転先であるA棟等の改修に係る基本・実施設計を完了し、工事に着手する。

4 移転を契機とした研究分野での地域貢献

- (1) 重点研究推進計画に定めた重点研究課題について、研究推進戦略本部会議において進捗管理の上、推進する。
- (2) ・血栓止血制御に関する研究に向けた取り組みを行う。
・IVRIに関する研究に向けた取り組みを行う。
- (3) 平成28年度に策定した評価システムをモデル的に実施するとともに、ブラッシュアップする。
- (4) 県民への啓発、教育・研究・診療を行うなど大和漢方医学薬学センターを運営する。
- (5) 橿原市・コンソーシアム企業及び早稲田大学と連携してMBTに関する諸事業を実施する。

5 健康づくり・予防医療等への貢献

- (1) 重点研究推進計画に定めた重点研究課題について、研究推進戦略本部会議において進捗管理の上、推進する。
- (2) ・血栓止血制御に関する研究に向けた取り組みを行う。
・IVRIに関する研究に向けた取り組みを行う。
- (3) 橿原市・コンソーシアム企業及び早稲田大学と連携してMBTに関する諸事業を実施する。
- (4) 健康長寿大規模コホート研究の進捗状況を確認し、研究を継続実施する。

関連予算

(千円)

事業名	内容	予算額
(新) 将来像推進事業	平成28年度に策定した「医大の目指すべき将来像」の趣旨や内容を学内外に周知徹底し、取り組みの進展を図る	3,500 (28 -)
(新) 地域医療に関する検討支援	将来像の実現、キャンパス整備の進展、地域医療に関する議論への貢献などのため継続的に実施する奈良県知事との意見交換・提案のために必要なコンサルタント支援経費	10,000 (28 -)
A棟改修事業(再掲)	臨床医学研究棟の仮移転先としてA棟改修を実施 (当初予算は設計費のみ。建設費については、設計後補正予算で対応予定)	46,600 (28 78,900)
(新) 施設整備基本計画策定支援事業	新キャンパス施設整備基本計画の策定支援委託	33,500 (28 -)
キャンパスだよりの発行	平成28年度に作成した新旧キャンパスのイメージパースの広報などキャンパス整備に関し、広く内外の理解を図るため、ジャーナルを発行	7,000 (28 -)
(新) 農業研究開発センター除却工事	移転予定地にある旧農業研究開発センター建物等を除却	371,000 (28 -)
新キャンパス移転地各種調査経費	移転予定地のボーリング調査、地形測量、造成工事基本設計を実施	43,400 (28 55,000)
(新) 代替グラウンド借上事業	キャンパス移転に先立ち、本学グラウンドの文化財発掘調査を実施するため、代替施設の借り上げ経費	3,600 (28 -)
MBT研究所運営事業(再掲)	橿原市・コンソーシアム企業及び早稲田大学と連携してMBT (Medicine-Based Town) に関する諸事業を実施	36,000 (28 -)
ゲストハウス整備事業(再掲)	新ゲストハウスを橿原市今井町に整備 (平成29年10月に完成予定) (工程遅延により再計上)	50,000 (28 50,000)



※このイメージは、今後の整備内容の具体化に向けた、たたき台として作成したものです。

法人運営予算の概要

第2期中期計画 VI 法人運営

1 ガバナンス体制の充実強化

○中期目標・中期計画を始めとし、法人の運営方針や規範等の情報について全教職員が共有し、一丸となって業務に取り組む。また、広報体制を充実し、様々な広報媒体を活用して、法人の取り組みを積極的に発信する。

2 ワークライフバランスの充実強化

○医師・看護師等の適正な増員と配置及び短時間正規労働制度の導入によるワークライフバランスの改善等により、仕事と生活が両立できる働きやすい職場環境の構築を図る。

3 同窓会・歴代卒業生との連携

○同窓会や卒業生との連携・交流を強化し、母校愛の育成と協力意識の向上を図るとともに、大学移転を踏まえた教育・研究環境の整備・充実のため、広く寄附を募る。

4 繰越欠損金の解消

○県からの運営費交付金を確保しつつ、効率的・効果的な大学・病院経営を行い、第2期中期目標期間において繰越欠損金の解消に努める。

平成29年度 年度計画

1. ガバナンス体制の充実強化

- (1)・行動規範を全教職員に周知する方法を検討し、実行する。
 - ・新たに制定されるシンボルマークが記載された法人旗等を制作することにより、職員の帰属意識や愛学精神の醸成を図る。
- (2)中期計画・平成29年度計画について、残り2年となる計画期間内で引き続き的確な進捗管理に努める。
- (3)・学報の配布を教職員・関連大学・病院等のみならず、公共施設(県内高校等)にも引き続き配布し、本法人の取組等をより広く発信する。
 - ・法人案内冊子を英語版も併せて作成し、国内外に情報発信することにより、本法人に対する更なる認知度の向上を図る。
 - ・本学の新旧キャンパスの整備に向け、地域住民とのコミュニケーションを充実させることを目的に発行している地域向け情報誌「奈良医大キャンパスだより」の内容を充実させるとともに、配布対象の拡大により、法人の对外情報発信を強化する。
 - ・県が運営する電子書籍「ナラプラス」も活用し、本学の取組を情報発信する。
- (4)・「法人の求める職員像」に則り、人材育成を行うために、職員育成体系の検討及び構築を行う。また、職員採用、職員研修、人事評価についても、「法人の求める職員像」に基づき、継続的に実施し、ならびに効果検証を行う。
 - ・大学の国際化、附属病院における外国人患者等に対応する職員の育成を目指し、外国語研修の検討及び実施をする。

2 ワークライフバランスの充実強化

ワークライフバランス検討委員会において、以下の取組を実施する。

- ・労働環境の改善、職場環境の充実について、検討を行い、取り組める事柄から迅速に実施する。
- ・年次有給休暇の取得促進、超過勤務の縮減等について、継続して検討を行う。
- ・ワークライフバランスの充実のために行った制度改正等を周知する。
- ・社会的要請、職員のニーズ等を把握し、必要に応じ、制度の見直し等を検討する。
- ・学内保育園の定員増及び園舎増築を検討する。

3 同窓会・歴代卒業生との連携

- (1)引き続き、学報の同窓会会員への定期的発送により本学情報を適時発信するとともに、学報へ同窓会に関する記事を掲載するなどして、同窓会や卒業生との連携を推進し、母校愛の育成と寄附金等協力意識の向上を図る。
- (2)・本学の教育・研究・診療の一層の充実を図るため、ふるさと納税制度の活用など県との連携の下、「未来への飛躍基金」への寄附金の募集を推進する。
 - ・寄附申込実績の管理・評価を的確に行い、呼び掛け対象層の拡大や継続寄附の確保など、より効率的な募集方策を検討・実施する。
 - ・学生・教職員のニーズや、大学を取り巻く環境の変化も考慮した効果的な活用策を検討・実施する。

4 繰越欠損金の解消

- (1)・法人経営プロジェクトチームにおいて収集・分析を行った各種データを、各組織に提示することにより経営情報の共有を図る。
 - ・附属病院における経営課題を明確にするため、附属病院長による診療科部長面談を実施し、改善に向けた取り組みを進めていく。
- (2)・適切な水準の患者数(病床稼働率)の確保、平均在院日数の適正化、施設基準の取得・維持等により診療収入の確保を図るとともに、精度向上による診療報酬請求の一層の適正化、債権の適正な管理による未収金の抑制を図る。また、平成30年度診療報酬改定の情報を収集し、必要な対応方
- (3)他院購入実績データを活用した価格交渉や安価な代替品への切替等により、医薬・診療材料費の適正化を図る。
- (4)主な投資について、稼働や収入確保等の状況を確認するとともに、各部門における人員配置が適切かどうかを確認する。

関連予算

(千円)

事業名	内容	予算額
(新) ガバナンス体制充実強化事業	新たに制定したシンボルマークを配した法人旗、徽章、職員証・学生証などを作成し、職員及び学生の帰属意識・愛学精神を醸成	11,000 (28) —)
(新) 情報発信事業	法人紹介パンフレット(日本語版・英語版)を作成し、広く内外へ情報発信	500 (28) —)
キャンパスだよりの発行(再掲)	平成28年度に作成した新旧キャンパスのイメージパースの広報などキャンパス整備に関し、広く内外の理解を図るため、ジャーナルを発行	7,000 (28) —)
(新) 法人化10周年記念事業	法人化10周年の節目に、奈良県立医科大学の更なる飛躍へ向かう姿を示すための式典を開催	4,000 (28) —)
広報事業費	法人の取組・方針等を新聞等に掲載することにより、広く内外へ周知	1,800 (28) 2,000)
情報システムの運営・整備	学内ネットワークの運営管理、ホームページの管理、情報セキュリティ強化、IT機器一括購入等	64,900 (28) 57,700)
(新) 人材育成プログラム策定事業	職員の能力向上を図るための人材育成プログラムについてコンサルタントに策定支援を委託	5,000 (28) —)
SD研修事業	「法人の求める職員像」に則り、人材育成を行うために要する経費 ⑳(新)法人職員研修、外国語研修	4,400 (28) 2,600)
看護師研修事業(再掲)	研修・学会などに参加することにより、知識・技術の向上を図り、キャリアアップを目指して事業を実施	19,100 (28) 19,000)
病院職員研修費(再掲)	研修・学会などに参加することにより、知識・技術の向上を図り、キャリアアップを目指して事業を実施 (看護職を除く病院職員が対象)	7,100 (28) 5,200)
診療報酬請求強化職員研修	診療報酬請求に関する研修を受講することにより、スキルアップを目指して事業を実施	2,300 (28) 2,700)
ワークライフバランス充実強化事業	ワークライフバランス充実のための職員の意識調査経費、労働環境・職場環境改善のための検討経費	1,500 (28) 800)

(千円)

事業名	内容	予算額
なかよし保育園の運営	職員の保育ニーズに対応するため、学内保育園の運営委託、病児保育委託を実施	89,200 (28) 89,500
なかよし保育園の整備	職員の保育ニーズ増に対応するため、学内保育園の定員増及び園舎増築を検討 (整備費は必要に応じ、補正予算で対応予定)	500 (28) —)
職員提案による職場・修学環境の充実 (基金活用事業)	全職員向けに基金の活用策の提案募集を行い、その中から大学・病院全体の労働・職場・修学等環境改善に資する事業に活用	20,000 (28) —)
健康管理事業	職員・学生の健康を確保するため健康診断を実施、労働安全衛生法に基づくストレスチェックを実施	27,000 (28) 23,300
募金推進事業	教育・研究等のさらなる充実を図るためハード・ソフト両面にわたる環境整備を行う「未来への飛躍基金」への募金を推進 自己収入: 応援集会への助成、感謝の集い開催経費	2,000 (28) 15,000
募金推進事業 (基金活用事業)	教育・研究等のさらなる充実を図るためハード・ソフト両面にわたる環境整備を行う「未来への飛躍基金」への募金を推進 基金財源: 募集パンフレット作成、銘板作成、返礼品など	6,700 (28) —)
未来への飛躍基金積立金	直接寄附等 16,900千円 県交付金 150,200千円(ふるさと納税制度活用分)	167,100 (28) 17,500
(新)法人経営プロジェクト運営経費	持続可能な経営基盤を確立するため、経営指標データの一元管理およびモニタリングを実施	4,300 (28) —)
診療材料等コスト削減対策事業	専門業者の保有する診療材料データベースを活用し、価格交渉を行うことにより、診療材料費を削減	2,200 (28) 2,200
レセプト院内審査支援システム事業	診療報酬請求の精度向上のため、レセプトチェックの機械化による業務の適正化、効率化	4,500 (28) 4,500
経営支援システム運営事業	附属病院の経営課題を浮き彫りにし、コストと効果の最適化を支援する経営支援システムの運営	1,300 (28) 1,300
DPC最適化対策事業	DPC最適化に向け、保険診療講習会の開催、経営分析システム(DPCに関連する各種指標分析)を運用するとともに、システムを活用し勉強会の開催などを実施	5,700 (28) 4,100
病院TQM推進事業	医療の質・サービスの向上を図るため、病院職員自ら業務提案を行うTQM大会の開催経費	1,000 (28) 1,000

(千円)

事業名	内容	予算額
(新)旅費システム更新事業	現システムについては今後使用できなくなることから、新システムを導入	7,000 (28 -)
長期借入金償還金	機器購入、施設整備等のため、県から借り入れた長期借入金の元利償還金	1,651,000 (28 1,557,600)
光熱水費	大学校舎、病院施設など法人全体の電気、ガス、水道などの料金	636,100 (28 823,300)
庁舎管理委託費	法人全体の警備、清掃、設備保守、廃棄物処理、電話交換などに要する経費	678,600 (28 531,900)
火災保険料	不測の事態に備えるため、火災保険等に参加	5,700 (28 4,600)
その他法人財産管理費	施設・設備の修繕費、電話代、借地料など法人財産の管理に要する経費	124,600 (28 130,000)
大学施設の改修	大学施設(本部棟等含む)の機能維持・改善のため施設改修を実施 ⑳総合研究棟空調機修繕など	28,000 (28 33,900)
防災対策整備事業	本学における災害による被害を最小限に止めるため、防災用品の購入、防災講習会の受講、訓練などを実施	1,000 (28 200)
基幹災害拠点病院体制整備事業	奈良県の基幹災害拠点病院としてふさわしい医療体制を構築 ⑳マニュアル改訂、訓練の実施など	3,500 (28 3,500)

